

静岡県三島市

文化財年報

第28号



2017
三島市教育委員会

静岡県三島市文化財年報
第28号

二〇一七

三島市教育委員会

表紙図面

向山古墳群第 16 号墳（前方後円墳）

県指定文化財（史跡）「向山古墳群」に平成 28 年 3 月 18 日付で追加指定。

全長 68.244m・後円部径 40.656m・前方部最大幅 33.396m（推定）

三島市谷田字新福寺

静岡県三島市

文化財年報

第28号

2017

三島市教育委員会

序 文

三島市の地勢は3つに区分できます。箱根山西麓地域、三島駅を中心に広がる扇状地、そして南部を占める沖積平野です。箱根の麓に広がる大地の上に発展してきた三島に、豊かさをもたらしたのは、箱根山西麓を源流とした川ばかりではなく、扇状地の扇中央部から湧き出る水もこの地を潤してきました。

そして、その流れの先にある沖積地は、肥沃で平らであるため農耕に適していますが、一般的に水害の危険が高く、この地も幾度となく災害に見舞われてきました。平成に入り箱根田遺跡(三島市安久)から発見された人面墨書土器などからも、その歴史が伺えます。それらは、奈良～平安時代に水害や疫病などを恐れて行われたお祓いの儀式で使用されたものと考えられます。

平成27年度に起きた出来事といえば、三島が誇る文化財である松並木にマツカレハ(蛾)が大量発生したことです。約400年前に江戸幕府により整備された東海道沿いに植えられた松は、行き交う旅人を雨や日差しから守ってきました。今でも多くの人々に愛されている風景を保全するために、早急に薬剤散布を実施しました。その後も被害が拡大しないよう保存活動の継続に努めております。

自然の脅威を前に人間は非力です。だからこそ、先人の残した財産と、その財産に託された先人の英知を将来に伝える必要性を強く感じます。また、被災した際の復興に備え、この地の文化力を高めておかなければなりません。

これまでに育まれてきた文化の確かな情報を後世に伝えることを使命とし、本市は今後も郷土の文化財行政に邁進していく所存です。

本書は、三島市が平成27年度に実施した文化財保護事業を広く紹介するために作成したものです。本書が多くの人々に活用され、郷土三島の歴史と文化を再認識できる資料として、お役に立てるところがあれば幸甚です。

また、日ごろより本市の文化財行政推進につきまして、ご理解・ご協力を賜りました関係各位に対し、深甚なる敬意を表しつつ、刊行のことばとします。

平成29年 3月

三島市教育委員会
教育長 西 島 玉 枝

例 言

1. 本書は平成27年度に実施した三島市内における文化財関係事業の概要をまとめたものである。
2. 文化財関係事業は、埋蔵文化財調査、文化財保存管理、委員会及び協議会、文化財啓発活動、その他に区分した。
3. 本書掲載の各種事業は、三島市教育委員会が主体となり実施したが、市域内で実施した静岡県教育委員会文化財保護課の発掘調査事業についても、地域の遺跡として網羅し掲載した。
4. 本書における挿図の提供と執筆は、各調査、各事業の担当者が行った。それぞれの執筆分担は、以下に示すとおりである。本書に係る事業計画、挿図図版及び本文の編集は辻が行った。

I. 辻 真人

II. B. 1～30. 辻 真人 C. 1. 2. 井鍋誉之

D. 1. 2. 井鍋誉之 E. 辻 真人

III. A. 辻 真人 B. 寺田光一郎

IV. A. 寺田光一郎 B. 辻 真人

V. A. 寺田光一郎

付編. 1～15. 須原淑乃

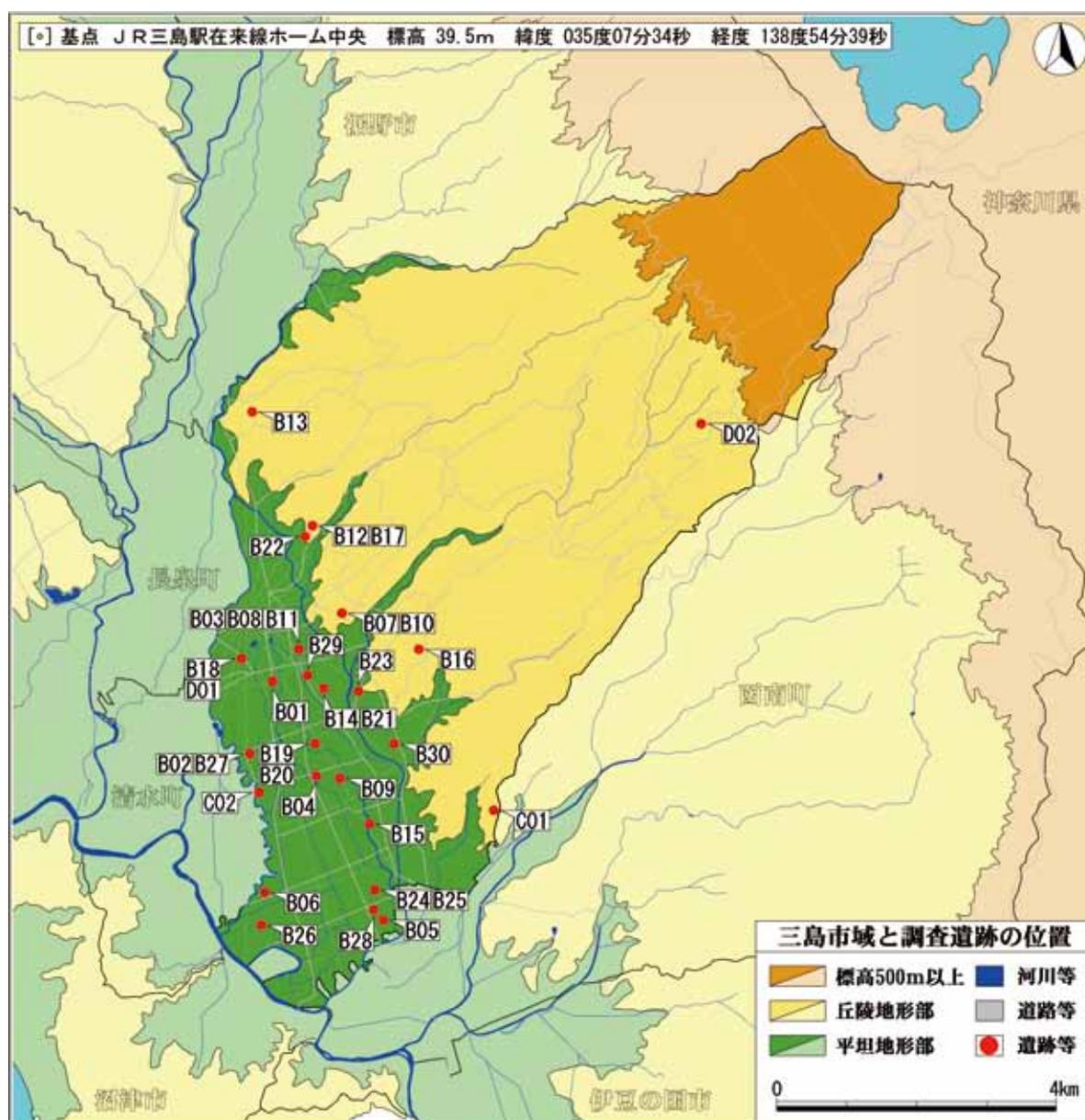
5. 平成27年度文化財関係組織

教 育 長	西 島 玉 枝
教 育 部 長	佐 野 康 仁
文 化 振 興 課 長	横 山 登 志 男
文化振興課課長補佐	芦 川 忠 利
文化振興係係長	岡 村 秀 一
文化振興係副主任	石 井 章 代
文化振興係主事	小 柴 昂 之
文化振興係主事補	栗 原 菜 摘
文化振興課係臨時職員	工 藤 な つ み
文化振興課主任学芸員	辻 真 人
〃	寺 田 光 一 郎
埋 蔵 文 化 財 臨 時 職 員	渡 邊 薫
〃	矢 田 香 緒 里
〃	伊 庭 美 紀 子
〃	須 原 淑 乃

目次

I. 平成27年度文化財保護事業の概要	1
II. 埋蔵文化財調査	
B. 確認調査（補助金充当）	
1. 三島御殿跡第9地点	2
2. 反り田遺跡第1地点	3
3. 塔ノ森廃寺第10地点	4
4. 青木原遺跡第8地点	5
5. 堀込遺跡第10地点	6
6. 長伏遺跡第7地点	7
7. 天神原遺跡第2地点	8
8. 塔ノ森廃寺第11地点	9
9. 藤代遺跡第5地点	10
10. 天神原遺跡第3地点	11
11. 塔ノ森廃寺第12地点	12
12. 千枚原A遺跡第7地点	13
13. 元作場B遺跡第2地点	14
14. 上才塚遺跡第12地点	15
15. 中島B遺跡第9地点	16
16. 陳場遺跡第1地点	17
17. 千枚原A遺跡第8地点	18
18. 伊豆国分寺跡第12地点	19
19. 青木原遺跡第10地点	20
20. 青木原遺跡第11地点	21
21. 上才塚遺跡第13地点	22
22. 千枚原横穴群第2地点	23
23. 谷田前田遺跡第6地点	24
24. 伊勢堰遺跡第16地点	25
25. 伊勢堰遺跡第17地点	26
26. 中ノ坪遺跡第11地点	27
27. 反り田遺跡第2地点	28
28. 箱根田遺跡第8地点	29
29. 市ヶ原廃寺第5地点	30
30. 井上遺跡第6地点	31
C. 確認調査（外部組織）	
1. 長命洞B遺跡第2地点	32
2. 搦子地遺跡第2地点	33
D. 立会調査（外部組織）	
1. 伊豆国分寺跡第13地点	34
2. 山中城I・J遺跡第1・2地点	35
E. 整理作業	
1. 市内遺跡整理調査事業	36
III. 文化財保存管理	
A. 保護保存事業（1. 推定平安・鎌倉古道と箱根旧街道）	37
B. 環境整備事業（1. 史跡山中城跡整備事業）	39
IV. 委員会及び協議会	
A. 三島市文化財保護審議委員会	40
B. 全国史跡整備市町村協議会及び東海地区協議会	41
V. 文化財啓発活動	
A. 文化財防火デー	41

付編 1. 国指定文化財一覧表 …………… 42	付編 9. 遺物整理調査事業一覧表 …………… 44
付編 2. 県指定文化財一覧表 …………… 42	付編10. 発掘調査事業一覧表 …………… 44
付編 3. 市指定文化財一覧表 …………… 42	付編11. 立会調査事業一覧表 …………… 45
付編 4. 重要美術品一覧表 …………… 43	付編12. 講師派遣等一覧表 …………… 46
付編 5. 登録有形文化財（建造物）一覧表 …… 43	付編13. 考古資料貸出・提供一覧表 …………… 46
付編 6. 静岡県の近代和風建築一覧表 …… 44	付編14. 写真資料使用承諾一覧表 …………… 46
付編 7. 天然記念物（地質鉱物）調査物件一覧表 …… 44	付編15. 文化財関係刊行図書一覧表 …………… 46
付編 8. 静岡県の近代化遺産一覧表 …………… 44	





平成27年度文化財保存事業の概要

水と緑に囲まれ自然環境に恵まれた三島市は、現在487ヶ所の遺跡が確認されており、旧石器時代の古くから人々の生活が営まれ、3万年の息吹を感じることのできる地である。

奈良時代には伊豆国の成立によって国府が置かれ国分寺・国分尼寺が建立され地方行政の中心となり、鎌倉時代には伊豆一宮である三嶋大社の門前町として信仰の拠点となった。さらに江戸時代には徳川幕府により東西方向に延びる東海道が整備されたことによって宿場町として賑わいを見せた。三島の地は伊豆半島の付け根部分にあたるため、三嶋大社の鳥居前が南の伊豆下田に向かう下田街道の起点となり、また三嶋大社西側からは山梨方面に向かう佐野街道が北に延びている。このようにして四辻の機能を持った三島は、文化や物資などが東西・南北に行きかい繁栄してきたという歴史を有している。

三島市の文化財保護行政としては、こうした先人の築いた歴史的文化遺産の保護・保存・活用・継承を図るため、埋蔵文化財の発掘調査や整理作業をはじめ、文化財の調査・指定・保護、史跡山中城跡、並びに向山古墳群の環境整備、箱根旧街道・平安鎌倉古道の保存管理、文化財啓発活動に努めている。

平成27年度は、決算額で約6,310万円の事業費により、次のような事業を実施した。

- 埋蔵文化財関係では、本調査の必要性の確認や建設工事に伴う確認調査として、三島御殿跡、反り田遺跡、塔ノ森廃寺、青木B遺跡、堀込遺跡、長伏遺跡、天神原遺跡、藤代遺跡、千枚原A遺跡、元作場B遺跡、上才塚遺跡、中島B遺跡、陳場遺跡、伊豆国分寺跡、青木原遺跡、千枚原横穴群、谷田前田遺跡、伊勢堰遺跡、中ノ坪遺跡、箱根田遺跡、市ヶ原廃寺、井上遺跡、22遺跡30地点を実施した。

また、調査遺跡の内容を記録保存し、一般に公開するため、出土遺物・遺構の整理作業を実施し、「三島市埋蔵文化財発掘調査報告」の刊行準備を行った。

- 国指定史跡の山中城跡関係では、除草、下刈り、芝生管理等日常の維持管理に努めるとともに、樹木刈込業務委託を行い景観の維持・改善を図った。

また、昭和48年の第1期整備から40年以上が経過し、堀や土塁の崩落が進行しているため、平成24年度から同30年度までの7ヵ年計画で、12地点8,000㎡の再整備を行っており、平成27年度は本丸西堀橋、本丸西堀土塁、兵糧庫休憩所、北ノ丸土塁の再整備を行った。

- 向山古墳群環境整備事業関係では、景観を維持するため古墳や遊歩道において雑草等の下刈りを行った。
- 文化財管理関係では、箱根旧街道及び推定平安鎌倉古道において保存管理のための下草刈りを行った。

また、箱根松並木においては、下草刈り、植栽帯刈り込み、遊歩道清掃、害虫防除・樹勢維持のためのコモ巻き及び薬剤樹幹注入、緊急薬剤散布を実施した。

- 協議会関係では、「全国史跡整備市町村協議会」理事市及び「同協議会東海地区協議会」副会長市として活動した。

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
IB1 三島御殿跡 MISHIMAGOTEN
 第9地点

所在地 三島市南本町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.00㎡ (108.97㎡)
 調査の期間 平成27年 4月28日

調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査

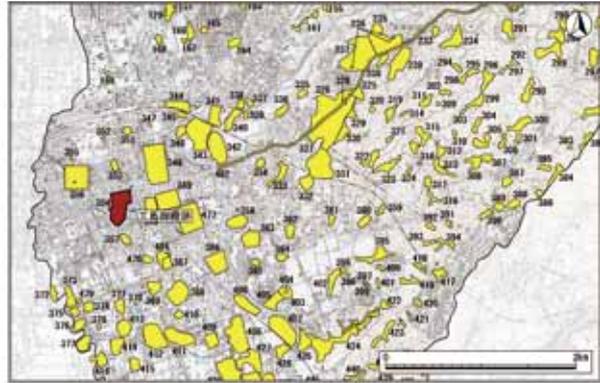
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.354 三島御殿跡は、
 三島駅の南南東 (N-161.0°-E) 1.03km、御殿川
 右岸の微高地上に位置し、標高は約20.3mを測る。

【緯度35度07分2.34秒・経度138度54分55.67秒】

調査の概要 今回の調査は個人住宅建設に伴う確認
 調査で遺跡有無を含めた調査後の行政指導資料取
 得を目的として実施した。調査方法はトレンチ調
 査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5m
 のトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する
 確認調査率は約3.67%であった。調査は作業員3
 名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返して表
 土下0.61mまで掘り下げ、遺構・遺物の検出に努
 めた。トレンチ北壁断面で層序の確認を行い4層
 に分層した。1・2層は盛り土層で20cm以下の
 礫やコンクリート片を含み、3層は土坑状の掘り
 込みの覆土でコンクリート片やガラス瓶を含み、
 4層は扇状地堆積層で灰色の砂と黒色の細砂の互
 層であった。1～3層のいずれもコンクリート片
 を含む事から近代以降の堆積層と考えられ、三島
 御殿の存在を示す遺構や遺物を確認する事はでき
 なかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

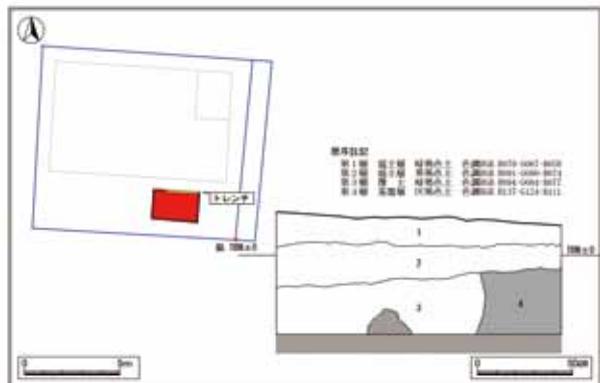
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白域
 と認識した。また設計GLを基準点 (TBM) から
 90cm上に計画している事から、本発掘調査の必要
 性はなく、文化財保護法第93条第1項の届出と伴
 に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会
 からは平成27年 5月12日付で指示通知(立会調査)
 があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完
 了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と北壁断面図 (1/400・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B2 反り田遺跡 SORIDA 第1地点

所在地 三島市玉川地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 32.00㎡ (999.93㎡)
 調査の期間 平成27年5月22日
 調査の原因 飲食店舗建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.374反り田遺跡は、

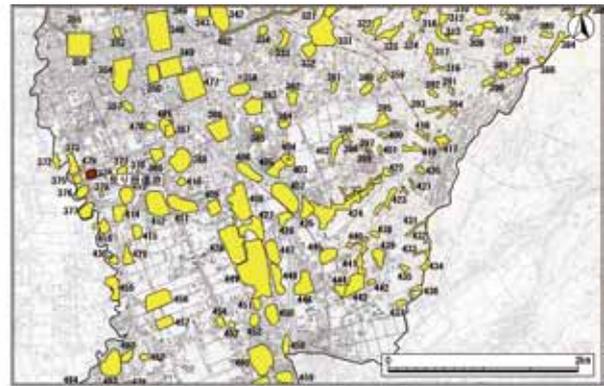
三島駅の南 (N-179.0°-W) 1.93km、境川左岸の微高地上に位置し、標高は約18.3mを測る。

【緯度35度06分31.06秒・経度138度54分40.11秒】

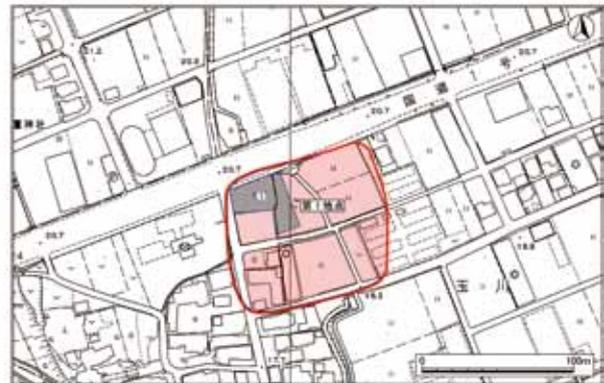
調査の概要 今回の調査は飲食店舗建設工事に伴う確認調査で、遺跡有無を含めた調査後の行政指導資料取得を目的として実施した。調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×5.0mのトレンチを4箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約3.20%であった。調査は重機(02)によって無遺物層を除去した後に、作業員6名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下0.64mまで掘り下げを行った。各トレンチの北壁あるいは東壁で層序の確認を行い5層に分層した。1層は現代の水田耕作土、2層是水田床土、3層は2層に類似する堆積層、5層は本地域の基盤層となる砂礫層で鉄分の沈着が顕著に見られた。また4層の黒色粘質土層は1・3トレンチの一部で観察できたが、いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

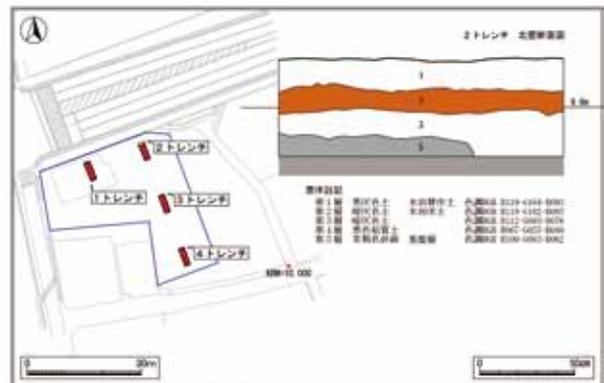
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白域と認識した。また開発計画では国道1号との段差を解消する為、最大1.5mの盛り土を予定している事から本発掘調査の必要性はなく、工事立会いが妥当と判断した。遺跡に対する取扱いについては文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年6月1日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実地して全ての現地調査を終了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と2トレンチ北壁断面図 (1/2,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B ③ 塔ノ森廃寺 TOUNOMORI 第10地点

所在地 三島市大宮町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 5.6㎡ (287.00㎡)
 調査の期間 平成27年 5月27日
 調査の原因 賃貸併用住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.348塔ノ森廃寺は、

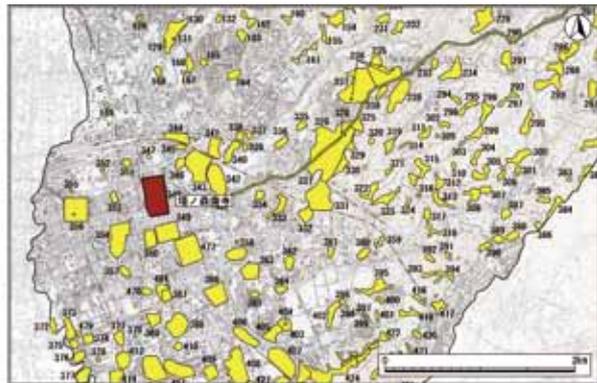
三島駅の南東 (N-114.0°-E) 0.64km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高は約29.2mを測る。

【緯度35度07分24.87秒・経度138度55分7.70秒】

調査の概要 今回の調査は賃貸併用住宅建築工事に伴う確認調査で遺跡有無を含めた調査後の行政指導資料取得を目的として実施した。調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×3.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約1.95%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を除去した後に、作業員2名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、遺構・遺物の検出に努めた。調査の結果、表土下約0.78mでこの地域の基盤層となる御殿場泥流堆積層を検出した。層序の確認はトレンチの北壁断面で行い、5層に分層した。1層は駐車場の碎石層、2層は暗褐色土とローム質土の互層からなる盛り土層、3層は径5cm以下の小石を多く含む盛り土層、4層は旧表土と推定し、5層は本地域の基盤層となる御殿場泥流堆積層であった。本層上面で更に確認作業を行ったが、遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

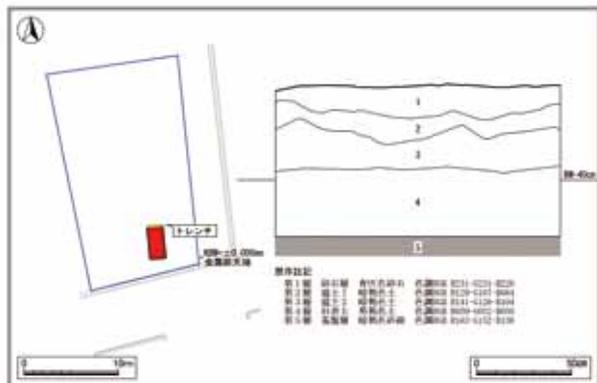
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白域、あるいは地形改変による遺跡の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を達した。静岡県教育委員会からは平成27年6月19日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と北壁断面図 (1/800・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B 4 青木B遺跡 AOKI 第8地点

所在地 三島市青木地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 7.0㎡ (223.00㎡)
 調査の期間 平成27年6月4日
 調査の原因 土地取引に伴う確認調査

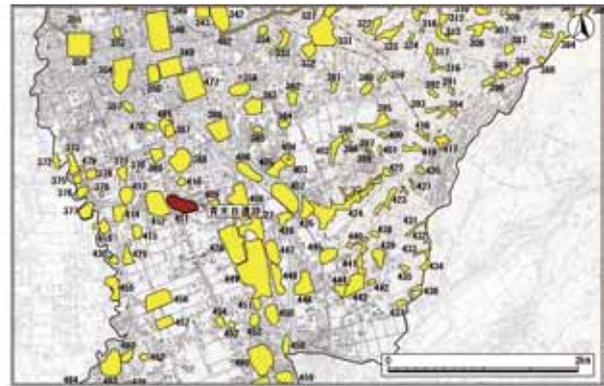
遺跡の位置 三島市遺跡地図No411青木B遺跡は、三島駅の南南東(N-158.0°-E)2.59km、御殿川右岸の微高地上に位置し、標高は約16.3mを測る。

【緯度35度06分15.77秒・経度138度55分20.35秒】

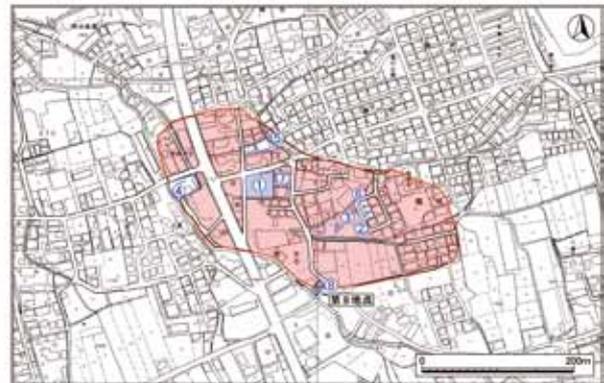
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mの1トレンチと1.0m×3.0mの2トレンチを配置した。事業面積に対する確認調査率は約3.14%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返した。1トレンチは5層の河川堆積砂層中で湧水があったため、直ちに埋め戻し、急遽2トレンチを設営し、掘り下げを行った。層序の確認は2トレンチの北壁断面で行い5層に分層した。1層は暗灰色の碎石層、2層は灰褐色土、3層は明褐色土で拳大～人頭大の礫を多量に含み、3層までが盛り土層と考えられる。4層は鉄分を含む黒褐色の腐植土層、5層は本地域の基盤層となる黒色砂層であった。調査地点周辺は基盤層が形成された後に湿地帯の様な環境が一定期間続いた後に埋め立てられた事が推測できるが、いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

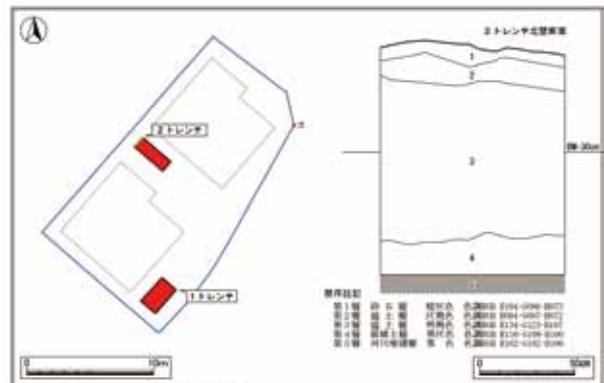
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年6月19日付で指示通知(立会調査)があり、事業者へ指示通知を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/10,000)



第3図 トレンチ配置と2トレンチ北壁断面図(1/600・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
IB6 堀込遺跡 Horigome 第10地点

所在地 三島市安久地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 5.6㎡ (229.88㎡)
 調査の期間 平成27年 6月10日
 調査の原因 土地取引に伴う確認調査

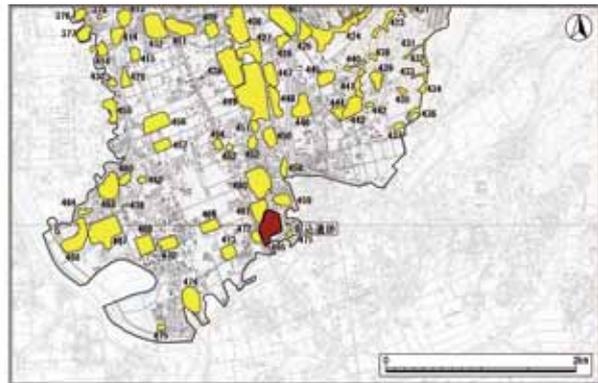
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.465堀込遺跡は、三島駅の南南東(N-155.5°-E) 4.69km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高は約10.7mを測る。

【緯度35度05分15.71秒・経度138度55分0.46秒】

調査の概要 今回の調査は土地取引に伴う確認調査で遺跡有無を含めた調査後の行政指導資料取得を目的として実施した。調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×3.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.44%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.46mまで掘り下げを行い、事業地付近の基盤層となる硬砂層を確認したが、遺構と遺物は出土しなかった。トレンチの北壁断面で層序の確認を行い、5層に分層した。1層から3層はローム質土を主体とする盛り土層、3層は青灰色に変色しており、一時期、地下水位が上昇していた事が推定できる。4層は黒褐色土で旧耕作土、5層は基盤層となる黒色の硬砂層であった。4層から湧水があり、これ以上の掘り下げは断念した。いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

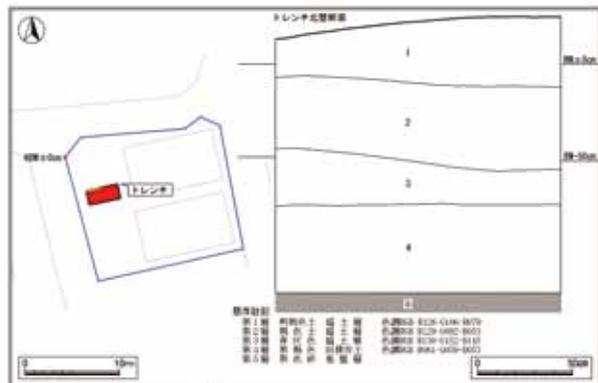
調査の成果 市段階の判断では事業地が遺跡範囲中の空白域(湿地)と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年6月19日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置とトレンチ北壁断面図(1/800・1/40)



写真 調査状況



所在地 三島市長伏地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 5.6㎡ (284.92㎡)
 調査の期間 平成27年7月8日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調査

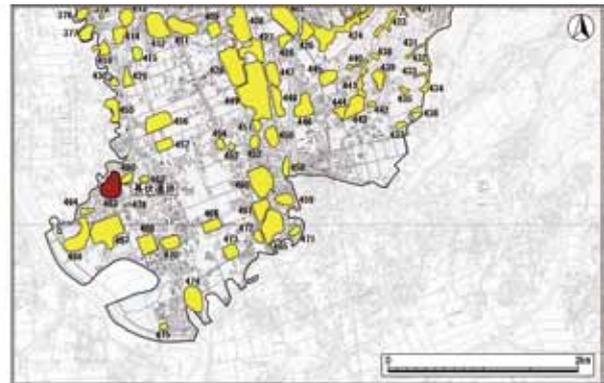
遺跡の位置 三島市遺跡地図No463長伏遺跡は、三島駅の南 (N-178.0°-E) 4.08km、境川左岸の微高地上に位置し、標高は約11.3mを測る。

【緯度35度05分21.65秒・経度138度54分48.86秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×3.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約1.97%であった。重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返して行った。層序の確認はトレンチの北壁断面で行い4層に分層した。1層は明褐色土を主体とする盛り土層であるが、旧水田耕作土や水田床土をブロック状に包含しており、大規模な天地返しが行われた事が確認できる。2層は暗灰色の細かい砂層、3層は硬く締まった乳灰色のシルト層で、いずれも遺跡周辺の広い範囲に堆積する沖積層である。2層の下層から湧水があり、表土下0.86mで面的な掘り下げを断念したが、北壁中央部の部分的な掘り下げにより、事業地付近の基盤層となる硬質な黒色砂層(4層)を確認した。今回の調査では、いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

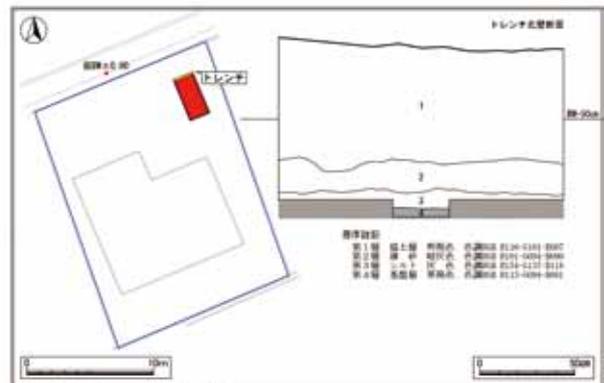
調査の成果 市段階の判断では事業地が遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく、工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡教育委員会からは平成27年7月15日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実地して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置とトレンチ北壁断面図(1/600・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
ⅡB7 天神原遺跡 TENJINBARA 第2地点

所在地 三島市加茂川町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 7.0㎡ (342.03㎡)
 調査の期間 平成27年 7月15日
 調査の原因 宅地分譲事業に伴う確認調査

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.341天神原遺跡は、三島駅の東(N-84.5°-E) 1.33km、箱根山西麓末端部の尾根上に位置し、標高は約48.0mを測る。

【緯度35度07分37.28秒・経度138度55分34.51秒】

調査の概要 今回の調査は宅地分譲事業に伴う確認調査で遺跡有無を含めた調査後の行政指導資料取得を目的として実施した。調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に2.0m×3.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.05%であった。調査は重機(02)を使用して盛り土層を除去した後、作業員5名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下1.17mまで掘り下げを行った。層序の確認はトレンチの北壁東端の断面で行い、9層に分層した。1～4層は厚さ63～72cmを測る盛り土層、5層と7層は混入物のほとんど無いローム層、6層と8層は橙色スコリアをブロック状に含む硬く締まったスコリア帯、9層はオレンジ色をした径1cm程度の三島パミスを少量含む。以上の事から5～9層は中部ローム層に該当し、いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

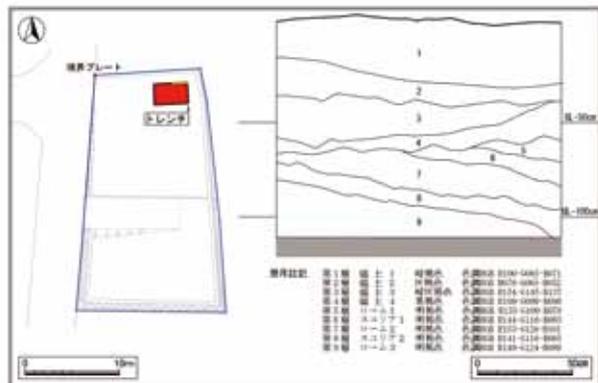
調査の成果 上部ロームが全て消失していることから、事業地の全域が遺跡範囲中の遺跡消失地と理解したので、市段階の判断では本発掘調査の必要性はなく、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年7月27日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と北壁断面図(1/800・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B ⑧ 塔ノ森廃寺 TOUNOMORI 第11地点

所在地 三島市大宮町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0㎡ (449.68㎡)
 調査の期間 平成27年7月23日
 調査の原因 倉庫及び車庫増築工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.348塔ノ森廃寺は、

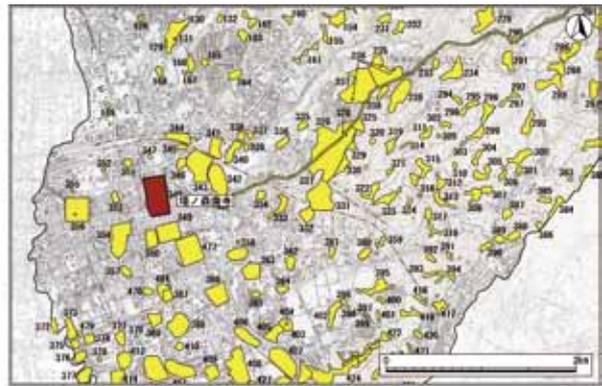
三島駅の南東 (N-110.0° -E) 0.80km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高は約28.4mを測る。

【緯度35度07分24.82秒・経度138度55分11.82秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は0.89%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を除去した後、作業員2名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下約0.35mでこの地域の基盤層となる御殿場泥流堆積層を検出した。層序の確認はトレンチの南壁断面で行い、5層に分層した。1～3層は盛り土層、4層は旧表土と推定できるが遺物は出土しなかった。5層は本地域の基盤層となる御殿場泥流堆積層であった。非常に硬く締まった本層上面で遺構の確認作業を行ったが、遺構と遺物は全く出土しなかった。また、トレンチ北東部に方形の掘り込みが存在したが、土地所有者からの聞き取りにより、防空壕の跡である事を確認した。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

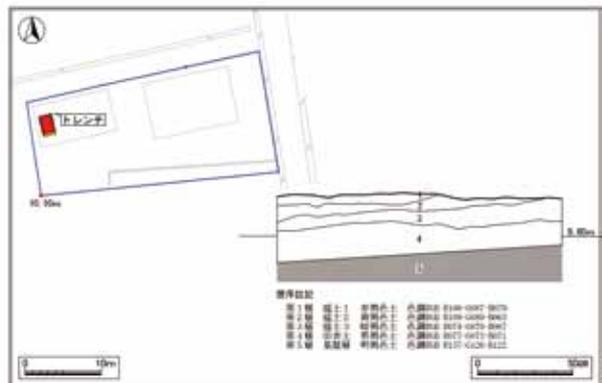
調査の成果 事業地は遺跡範囲中の遺跡空白域、あるいは後世の地形改変による遺跡の消滅地と理解したので、市段階の判断では本発掘調査の必要性はなく、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年8月4日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と南壁断面図 (1/1,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
藤代遺跡 FUJISHIRO 第5地点

所在地 三島市青木地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 36.0㎡ (995.00㎡)
 調査の期間 平成27年 7月28日～30日
 調査の原因 宅地分譲に伴う確認調査

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.409藤代遺跡は、三島駅の南南東(N-29.0°-E)2.60km、御殿川右岸の微高地上に位置し、標高は約15.4mを測る。

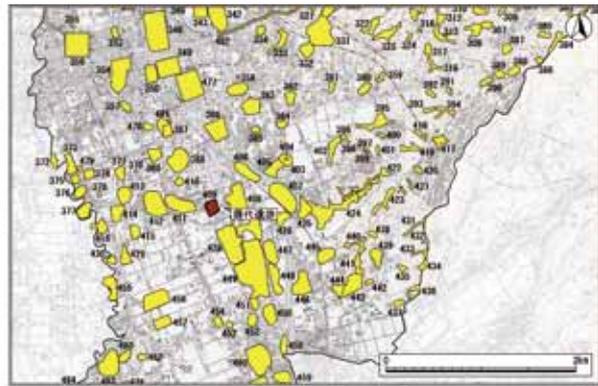
【緯度35度06分20.24秒・経度138度55分32.25秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを10m間隔に3ヶ所×3列、9箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約3.62%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を除去した後、作業員延べ11名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返した。層序の確認は3トレンチの東壁断面で行い、4層に分層した。1層と2層は旧水田耕作土、3層は鉄分を多く含んだ茶褐色の水田床土、4層が黒褐色の遺物包含層であった。4層上面が遺構確認面になると推定できるが、遺構の覆土も同様の黒褐色土であるため、分離する事ができず、今回の調査では4層下面の基盤層との境で遺構の確認を行った。調査の結果、9箇所全てのトレンチから遺構が出土した。内訳は住居跡9軒、方形周溝墓3基、ピット3基となる可能性を指摘できる。

遺構と遺物 遺構 方形周溝墓・住居跡

遺物 弥生土器・土師器・須恵器

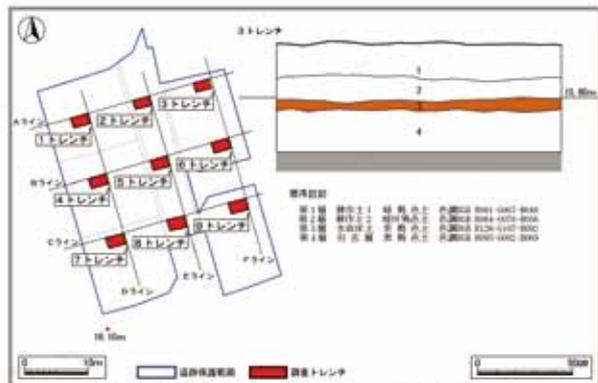
調査の成果 事業地の全域に遺跡が存在する事が確実となったが、事業者は、盛り土を行う事によって遺跡の保護層を確保し、開発を進める事を希望した。文化財保護法第93条第1項の届出と伴に事業者の意向を副申として進達した。静岡県教育委員会からは平成27年9月8日付で指示通知(立会調査)があり、複数回の立会調査を実地して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 遺跡保護範囲におけるトレンチ配置と3トレンチ東壁断面図(1/1,200・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B 10 天神原遺跡 TENJINBARA
 第3地点

所在地 三島市天神原地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 12.0㎡ (702.00㎡)
 調査の期間 平成27年 8月 1日
 調査の原因 宅地分譲事業に伴う確認調査

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.341天神原遺跡は、
 三島駅の東 (N-95.0°-E) 1.33km、箱根山西麓末
 端部の尾根上に位置し、標高は約48.0mを測る。

【緯度35度07分38.14秒・経度138度55分34.55秒】

調査の概要 今回の調査は宅地分譲事業に伴う確認
 調査で遺跡有無を含めた調査後の行政指導資料取
 得を目的として実地した。調査方法はトレンチ調
 査法を利用して行い、1.6m×2.5mのトレンチを
 3箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は
 1.71%であった。調査は重機 (01) によって盛り
 土層を除去した後、作業員5名の手掘りによる排
 土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.36mまで
 掘り下げを行った。層序の確認は3トレンチの東
 壁南端の断面で行い、5層に分層した。1層は柔
 らかい耕作土、2層は漸移層状の茶褐色土、3～
 5層は混入物のほとんどないローム層、4層は橙
 色スコリアをブロック状に含む硬く締まったスコ
 リア帯である。3～5層は中部ローム層に該当し、
 いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし

遺物 なし

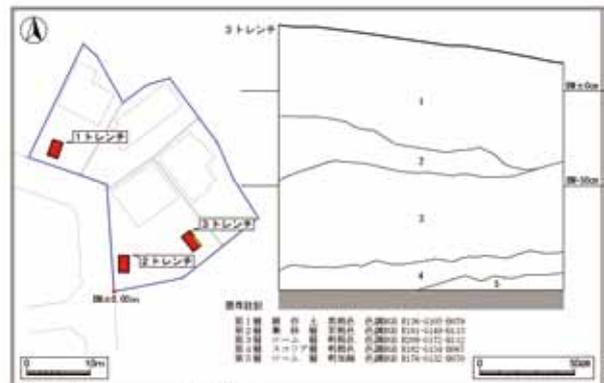
調査の成果 調査の結果、北側の第1地点、南側の
 第2地点同様に、第3地点においても上部ローム
 層が全て消滅している事から、事業地の全域が遺
 跡範囲中の消失域と理解した。文化財保護法第93
 条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達し
 た。静岡県教育委員会からは平成27年9月8日付
 で指示通知 (立会調査) があり、事業者に指示通
 知を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
 3トレンチ東壁断面図 (1/1,200-1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B I 塔ノ森廃寺 TOUNOMORI
 第12地点

所在地 三島市大宮町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 12.0㎡ (452.23㎡)
 調査の期間 平成27年 8月 5日
 調査の原因 賃貸併用住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.348塔ノ森廃寺は、

三島駅の南東 (N-116.0° -E) 0.85km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高は約27.4mを測る。

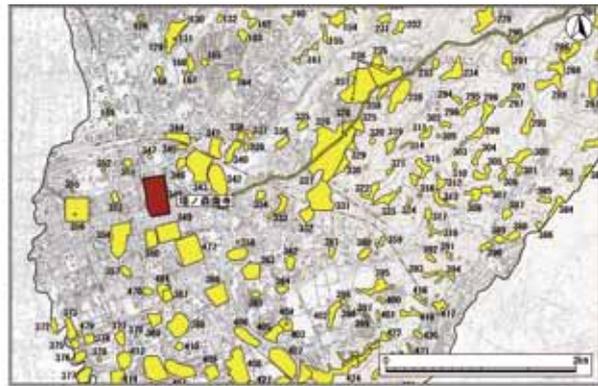
【緯度35度07分21.44秒・経度138度55分12.67秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを3箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.65%であった。調査は重機(01)を使用して盛り土層を除去した後、作業員5名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表上下0.6~0.7mまで掘り下げを行った。層序の確認は1トレンチの北壁断面で行い、8層に分層した。1層は盛り土層、2層は旧表土、3~7層は遺構覆土とも考えられるが、遺構と認定する事はできなかった。また3トレンチでは基盤層となる御殿場泥流堆積層に直径1mを超える大型の石材が2個出土した。三嶋大社境内で平成7年度に調査した祭祀遺構と同様の遺構となる可能性があるが、遺物の出土がなく、遺構と認定する事ができなかった。

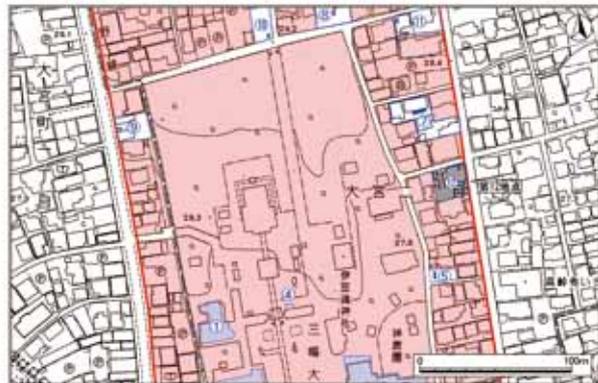
遺構と遺物 遺構 なし

遺物 なし

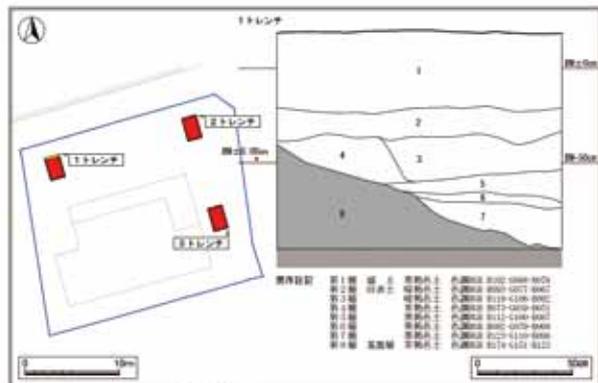
調査の成果 市段階の判断では事業地が遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年8月20日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
1トレンチ北壁断面図(1/800-1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B ⑫ 千枚原 A 遺跡 SENMAIBARA
 第7地点

所在地 三島市谷田千枚原地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0㎡ (206.86㎡)
 調査の期間 平成27年 8月12日
 調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.130千枚原A遺跡は、三島駅の北北東 (N-32.5°-N) 1.48km、東側の沢地川と西側の大場川に挟まれた丘陵上に位置し、標高は約67.0mを測る。

【緯度35度08分14.34秒・経度138度55分13.27秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲の任意の位置に1.6m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約1.93%であった。調査は重機(01)による掘り下げと作業員4名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表上下最大1.45mまで掘り下げを行った。トレンチの東壁断面で層序の確認を行い8層に分層した。1層は碎石を主体とする駐車場の整地層、2層は旧耕作土、3層は漸移層、4～6層は休場層になり、安定した水平堆積を示すものであった。7層はBBO層、8層はSC1層に相当するが、ブロック状の不安定な堆積状況を示しており、二次堆積と考えられる。いずれの層からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし
 遺物 なし

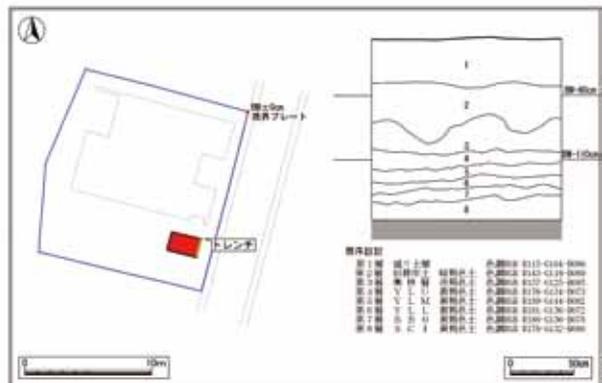
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年8月27日付で指示通知(立会調査)があり、事業者に指示通知を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と東壁断面図 (1/600・1/60)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B ⑬ 元作場B遺跡 MOTOTUKURIBA
 第2地点

所在地 三島市萩地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 8.0㎡ (330.0㎡)
 調査の期間 平成27年8月27日
 調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.103元作場B遺跡は、

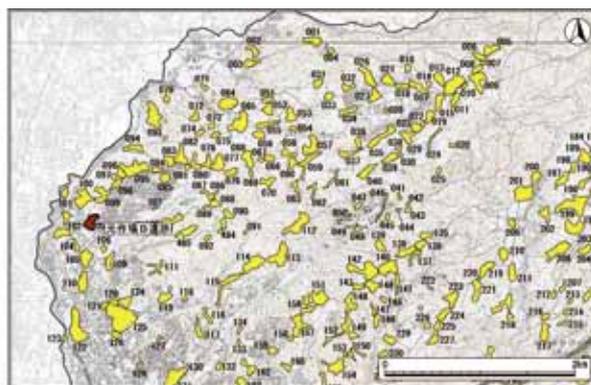
三島駅の北(N-179.0°-E)3.03km、箱根山西麓末端部の尾根上に位置し、標高は約112.0mを測る。

【緯度35度09分11.63秒・経度138度54分44.14秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを2箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.42%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員6名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.53mまで掘り下げを行った。層序の確認は1トレンチの北壁東端の断面で行い、3層に分層した。1層は表土層、2層は基礎砕石で、いずれも旧建物に関するものであった。3層は中部ローム層に該当し、橙色スコリアをブロック状に含む他に、オレンジ色をした径1cm程度の三島パミスを少量含んでいた。いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。尚、先に調査した第1地点では1.8m程度の盛り土を行っているため、本地点の様な尾根の頂部を切り崩して谷部分の埋め立てを行った可能性を指摘できる。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

調査の成果 上部ローム層が全て消失していることから、事業地の全域が遺跡範囲中の消失地と理解したので、発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年9月8日付で指示通知(立会調査)があり、事業者へ指示通知を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
1トレンチ北壁断面図(1/800-1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B 14 上才塚遺跡 KAMISAIIDUKA 第12地点

所在地 三島市東町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0㎡ (178.44㎡)
 調査の期間 平成27年9月3日
 調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No477上才塚遺跡は、

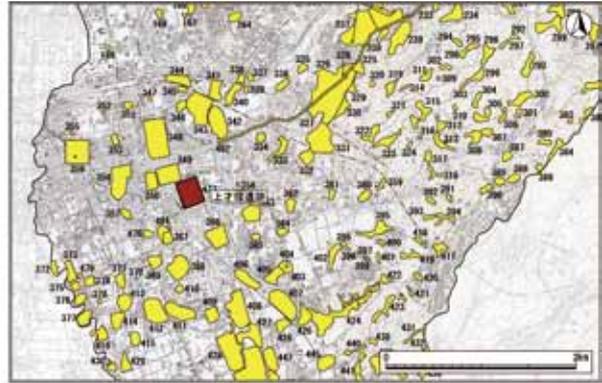
三島駅の南東 (N-129.5° -E) 1.42km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高は約22.4mを測る。

【緯度35度07分4.35秒・経度138度55分25.28秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.24%であった。調査は重機(01)による無遺物層除去と、作業員2名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.75mまで掘り下げた。土層が安定的な堆積を示すトレンチ北壁東端で層序の確認を行い、5層に分層した。1層は駐車場に伴う盛り土層で碎石と暗褐色土の互層になっていた。2層は柔らかく粘性の強い灰褐色土で少量の鉄分を含む事から旧耕作土、3層は鉄分の沈着が多く認められる灰茶褐色土で耕作土の床土と推定できる。4層は砂礫混じりの暗褐色土で奈良時代以降の遺物包含層に相当すると推定できる。5層は基盤層となる砂層で鉄分の沈着が見られた。本層上面を遺構確認面として丁寧な平面確認を行ったが、遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

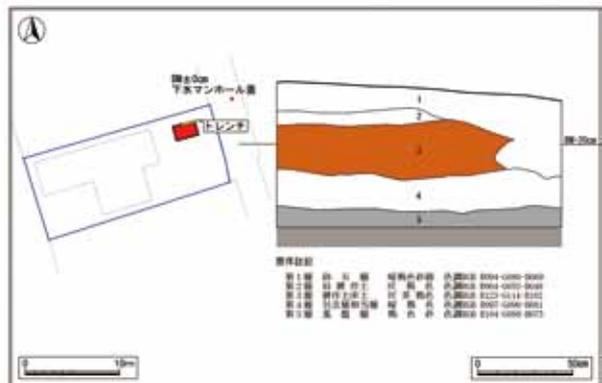
調査の成果 市段階の判断では事業地が遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年9月14日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と北壁断面図 (1/800-1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
IB16 中島B遺跡 NAKAJIMA 第9地点

所在地 三島市中島地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 12.0㎡ (418.48㎡)
 調査の期間 平成27年 9月16日

調査の原因 賃貸住宅建設工事に伴う確認調査

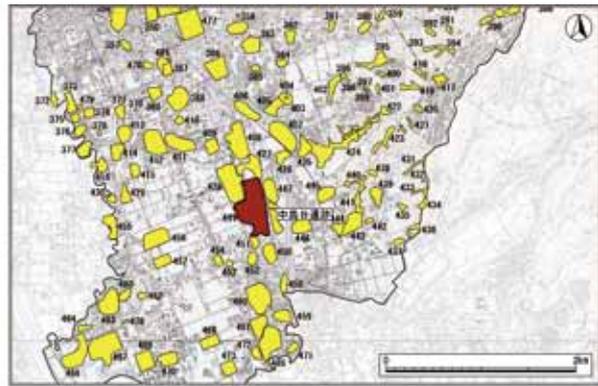
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.449中島B遺跡は、三島駅の南南東(N-32.5°-E) 3.18km、御殿川左岸の微高地上に位置し、標高は約15.2mを測る。

【緯度35度06分6.15秒・経度138度55分49.82秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業建物内に1.6m×2.5mのトレンチを3箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.87%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員5名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.65mまで掘り下げを行った。層序の確認は2トレンチ東壁の断面で行い、4層に分層した。1層は表土層、2層は盛り土層で、いずれも旧建物に関するものです。3層はやや硬く粘性の強い灰褐色土で水田耕作土に該当する。4層は調査地点周辺の基盤層となる黒褐色の砂層であった。また、先に調査した第8地点では本調査地点の第3層と第4層の間に遺物包含層の存在が認められたが、今回の調査では遺物包含層を確認する事はできなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

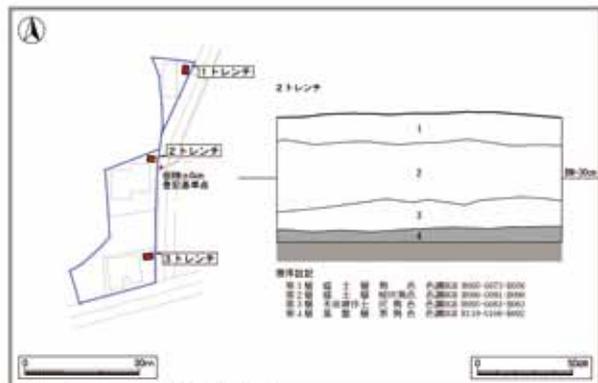
調査の成果 遺物包含層が存在しない事、基盤層上面で遺構を確認できなかった事から事業地の全域が遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形改変による遺構の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会から平成27年10月2日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/10,000)



第3図 トレンチ配置と
2トレンチ東壁断面図(1/2,000 : 1/40)



写真 調査状況



所在地 三島市谷田字塚畑ヶ地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 8.0㎡ (299.20㎡)
 調査の期間 平成27年 9月26日
 調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.331陳場遺跡は、三島駅の東 (N-101.0°-E) 2.55km、箱根山西麓の尾根上に位置し、標高は約66.7mを測る。

【緯度35度07分17.92秒・経度138度56分21.42秒】

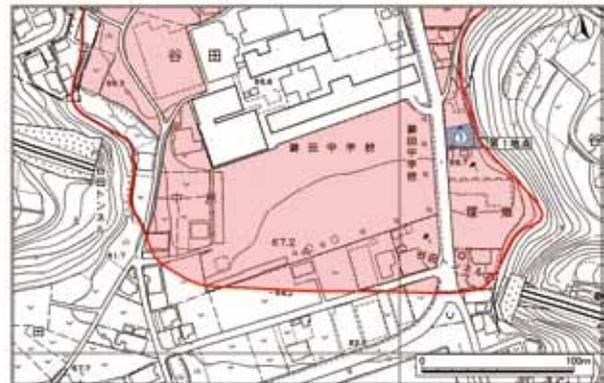
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを2箇所配置した。調査対象面積に対する確認調査率は2.67%であった。調査は重機 (01) による無遺物層の除去と、作業員4名の手掘りによる排土及び平面確認を繰り返し、表土下最大1.53mまで掘り下げた。土層が安定的な堆積を示す1トレンチ西壁で層序の確認を行い、5層に分層した。1層は硬く締まった碎石層で駐車場に伴う盛り土層、2層は灰色土、3層は褐色土を主体とする盛り土層で大規模な盛り土が2回に分けて行われた事を物語っている。4層は硬く締まった粘性の弱い暗褐色土で旧耕作土に相当すると考えられる。5層は中部ローム層に該当し、オレンジ色をした径1cm程度の三島パミスブロック状に大量に含んでいる。いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

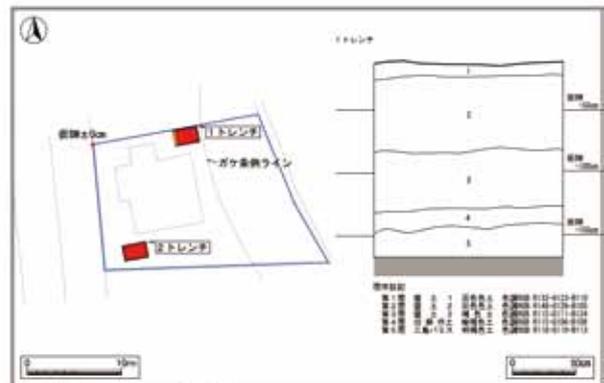
調査の成果 事業地には上部ローム層が存在しない事から遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年10月8日付で指示通知 (立会調査) があり、事業者には指示通知を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と1トレンチ西壁断面図 (1/800・1/60)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
ⅡB① 千枚原A遺跡 SENMAIBARA
 第8地点

所在地 三島市千枚原地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 3.0㎡ (220.59㎡)
 調査の期間 平成27年10月15日

調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.130千枚原A遺跡は、三島駅の北東(N-35.0°-E)1.48km、東側の沢地川と西側の大場川に挟まれた丘陵上に位置し、標高は約67.0mを測る。

【緯度35度08分13.47秒・経度138度55分16.01秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、現況家屋の駐車場部分に通常より小さい1.2m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は1.50%であった。調査は作業員3名の手掘りによる排土と平面を繰り返し、遺構・遺物の検出につとめ、表土下最大0.90mまで掘り下げを行った。トレンチの北壁断面で層序確認を行い、7層に分層した。1・2層は非常に硬く締まった盛り土層、3～5層は耕作土と考えられる暗褐色土で、土器状の細かな粒子を含んでいたが、遺構を確認する事は出来なかった。6層はローム質土、7層はスコリア層であるが、中部ロームに相当する層と考えられ、各層共に遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形改変による遺跡の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を達した。静岡県教育委員会からは平成27年10月26日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と北壁断面図(1/800・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
ⅡB18 伊豆国分寺跡 IZUKOKUBUNJI
 第12地点

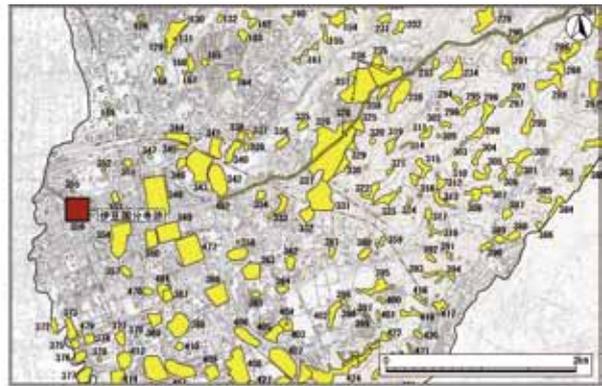
所在地 三島市泉町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 8.0㎡ (319.61㎡)
 調査の期間 平成27年10月22日
 調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.356伊豆国分寺跡は、三島駅の東 (N-177.0° -W) 0.58kmに位置し、標高は約28.4mを測る。

【緯度35度07分15.20秒・経度138度54分41.25秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業建物内外に1.6m×5.0mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は2.50%であった。調査は重機 (01) による無遺物層を除去後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.16mまで掘り下げを行った。トレンチ西壁で層序確認を行い2層に分層した。1層は硬く締まった粘性の弱い表土層、2層は明灰褐色の基盤層 (扇状地堆積層) に該当した。今回の確認調査は国分寺の東辺を確定する様な回廊、あるいは (築地) 塀の検出を目的としていたので基盤層となる2層を5~8cm掘り下げて遺構の確認に努めたが、予想に反していずれの層位からも遺構と遺物は出土せず、国分寺の範囲確定には至らなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

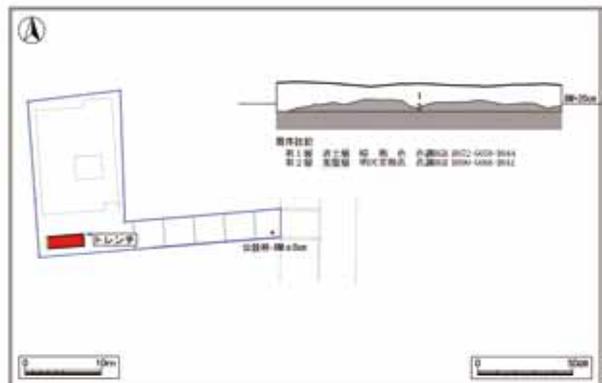
調査の成果 表土層の堆積が非常に薄く、表土層直下が基盤層になる事から、遺跡範囲中の空白域、または後世の地形改変による遺跡の消失地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年11月4日付で指示通知 (立会調査) があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と西壁断面図 (1,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
IB19 青木原遺跡 AOKIBARA 第10地点

所在地 三島市南二日町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0㎡ (123.22㎡)
 調査の期間 平成27年10月29日

調査の原因 個人住宅建設工事に伴う確認調査

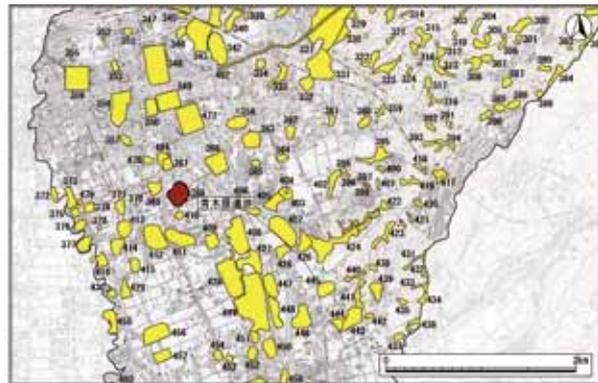
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.368青木原遺跡は、三島駅の南南東(N-26.5°-E) 2.12km、御殿川蛇行帯の左岸に位置し、標高は約14.4mを測る。

【緯度35度06分32.28秒・経度138度55分19.19秒】

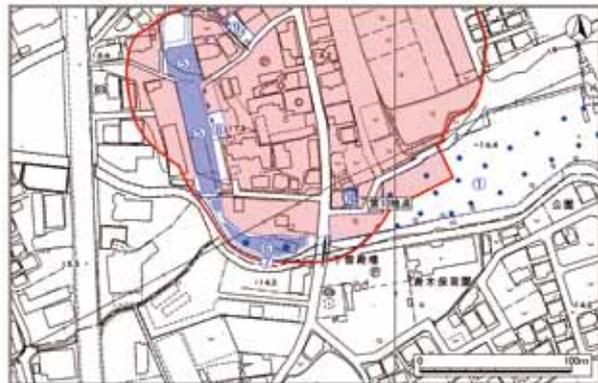
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約3.25%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大0.85mまで掘り下げを行った。層序の確認はトレンチの東壁断面で行い、4層に分層した。1層は拳大以下の礫を多く含む表土層、2層は暗灰色の攪乱層、3層は黒灰色と暗青灰色の細砂の互層で河川中の堆積層と考えられる。4層は非常に硬く締まった砂礫層で扇状地堆積層に相当するものであった。本調査地点は基盤層となる扇状地堆積層までの深度が浅く、河川堆積層も薄い事から、弥生~古墳時代においても御殿川の川岸付近であった事が推定できる。

遺構と遺物 遺構 なし
 遺物 なし

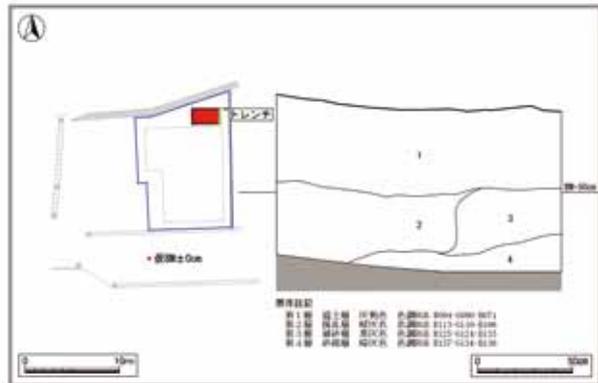
調査の成果 事業地の全域が遺跡範囲中の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年11月4日付で指示通知(立会調査)があり、事業者へ指示通知を伝達した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と東壁断面図(1/800・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B 20 青木原遺跡 AOKIBARA 第11地点

所在地 三島市南二日町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 16.0㎡ (661.24㎡)
 調査の期間 平成27年11月5日
 調査の原因 集合住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.368青木原遺跡は、

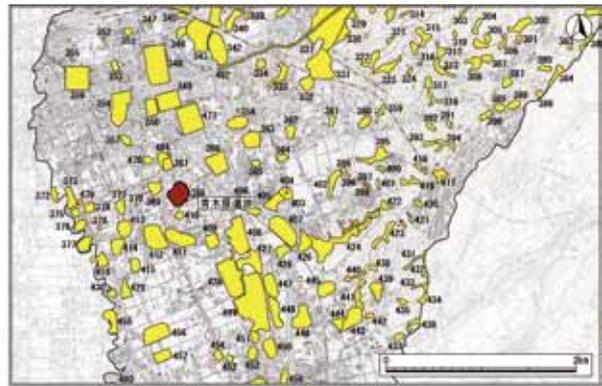
三島駅の南南東 (N-29.0°-E) 2.01km、御殿川左岸に位置し、標高は約19.0mを測る。

【緯度35度06分36.78秒・経度138度55分21.51秒】

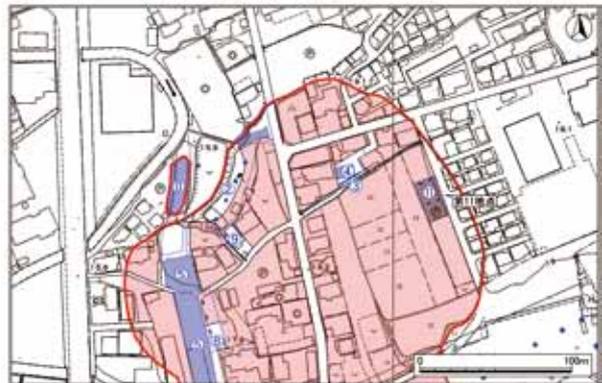
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを4箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約2.42%であった。調査は重機(01)によって無遺物層を排除した後、作業員5名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.05mまで掘り下げを行った。層序の確認は3トレンチの東壁断面で行い、5層に分層した。1層は盛り土層、2層は暗灰色の水田耕作土、3層は鉄分を多く含む茶褐色の水田床土、4層は暗灰色土の旧水田耕作土、5層は礫混じりの黒色土で弥生～平安時代の土器を含む包含層だが、遺構を確認する事はできなかった。また5層を20cm掘り下げた所で完形に近い坏が出土したので、これ以上の掘り下げは遺跡の破壊につながると判断し、調査を終了した。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 弥生土器・土師器

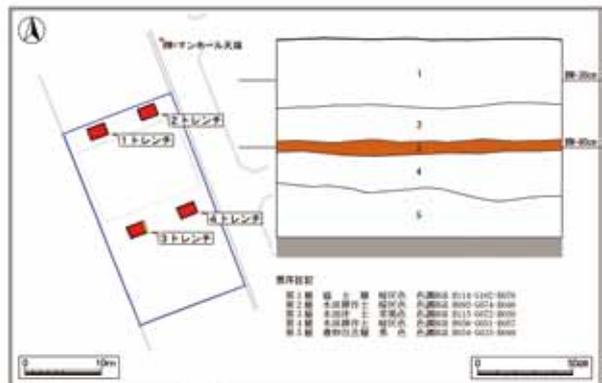
調査の成果 事業地全域に遺跡が広がっている事が理解できるが、建物の基礎深度はBM-29cmに対して、遺物包含層はBM-85cm以下に存在するので、遺跡の保護に必要な土層を確保できると判断し、本発掘調査の必要性はなく、工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年11月13日付で指示通知(立会調査)があり、事業者と遺跡保護に関わる協定書を締結後に立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
3トレンチ東壁断面図(1/1,000・1/40)



写真 調査状況

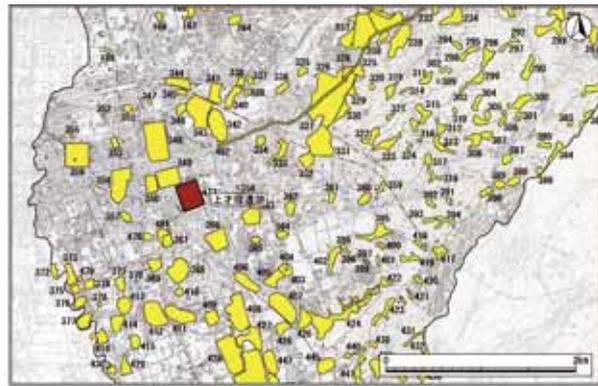
埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
ⅡB② 上才塚遺跡 KAMISAIIDUKA
 第13地点

所在地 三島市東町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 60.0㎡ (2,014.61㎡)
 調査の期間 平成27年11月19日～11月20日
 調査の原因 集合住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.477上才塚遺跡は、
 三島駅の南東 (N-132.5° -E) 1.37km、大場川右
 岸の微高地上に位置し、標高約22.4mを測る。
【緯度35度07分4.16秒・経度138度55分22.55秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して
 行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを16
 箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約
 2.79%であった。調査は重機 (01) による無遺物
 層の除去と、作業員延べ15名の手掘りによる排土
 と平面確認を繰り返し、表土下最大0.47mまで掘
 り下げを行った。安定的な堆積を示す14トレンチ
 北壁で層序の確認を行い、5層に分層した。1層
 は駐車場表層の碎石層、2層はローム質土を主体
 とする盛り土層、3層は径1～3cmのロームブ
 ロックを少量含む暗褐色の盛り土層である。4層
 は暗灰色の旧水田耕作土、5層は基盤層となる砂
 層で鉄分の沈着が見られた。本層上面を遺構確認
 面として平面確認を行ったが、遺構と遺物は発見
 できなかった。周辺の調査では本地点の4層と5
 層の間に奈良時代以降の遺物包含層となる砂礫混
 じりの暗褐色土が存在したが、15箇所全てのト
 レンチで包含層を確認する事ができなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

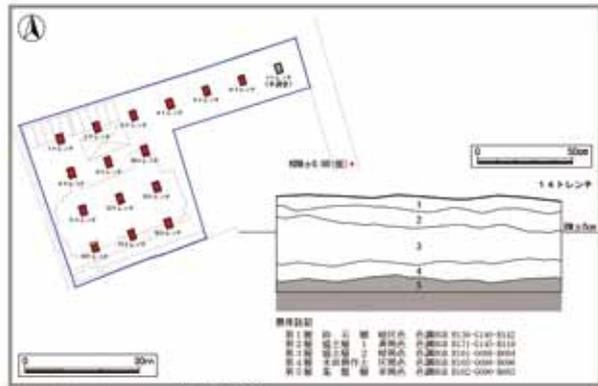
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白
 域、あるいは遺跡消滅地と理解したので、本発掘
 調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文
 化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の
 副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27
 年12月8日付で指示通知 (立会調査) があり、立
 会調査を実施して全ての現地査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
 14トレンチ北壁断面図 (1/2,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
II B 22 千枚原横穴群 SENMAIBARA
 第2地点

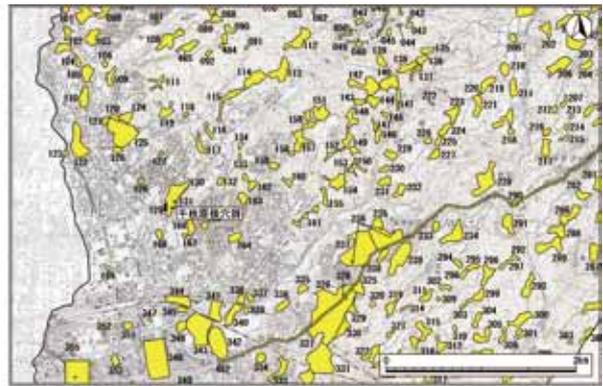
所在地 三島市壺町田地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0㎡ (294.44㎡)
 調査の期間 平成27年11月27日
 調査の原因 店舗併用住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡No.129千枚原横穴群は、三島駅の北北東(N-33.0°-E) 1.42kmに位置し、標高約50.0mを測る。

【緯度35度08分11.86秒・経度138度55分13.15秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×5.0mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は約1.36%であった。かつて調査地点東側の崖面には複数の横穴が開いていたが、現在では崩落土等に埋もれて位置を確認する事ができない。平成26年に急傾斜地崩壊対策工事で出土した横穴は、その形態と天井面に残る工具痕から防空壕と判断されている。調査は重機を使用せず、作業員3名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下1.20mまで掘り下げを行った。トレンチ南壁西端で層序の確認を行い、6層に分層した。1層は腐植土を主体とする表土層、2層～5層は主に山体崩落による二次堆積土で、4層は三島パミスを含む暗褐色土、6層は箱根火砕流に相当する灰黄褐色の山体基盤層であった。いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

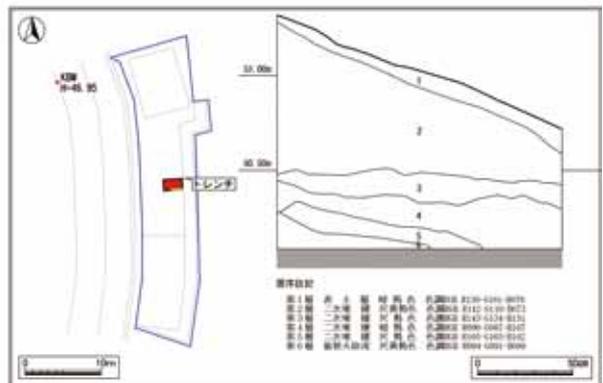
調査の成果 遺構と遺物が全く出土しなかったことから、遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形変化による遺跡の消失地と理解したので、本調査の必要性はなく、工事立会いが妥当と考えた。文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年12月16日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と南壁断面図(1/1,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
ⅡB23 谷田前田遺跡 YATAMAEDA 第6地点

所在地 三島市谷田字雪沢地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 52.0㎡ (2,051.15㎡)
 調査の期間 平成27年12月1日～12月2日
 調査の原因 店舗建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.358谷田前田遺跡

は、三島駅の南東(N-55.0°-E)1.91km、大場川左岸の微高地上に位置し、標高約20.0mを測る。

【緯度35度06分58.99秒・経度138度55分43.68秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのグリッドを17箇所に配置したが、地形の制約により13箇所にとどまった。事業面積に対する確認調査率は2.54%であった。調査は、重機(02)による無遺物層の除去後、作業員15名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下最大1.20mまで掘り下げを行った。土層の堆積は8層に分層したが、15トレンチ北壁では次の5層しか確認できなかった。1層と3層は灰褐色の耕作土、2層と4層は茶褐色の耕作土床土、6層は黒褐色の腐植土、7層は河川堆積層と推定される乳灰褐色の粘性シルト層で9・10トレンチ以南に、8層の黒灰色砂礫層遺構は6～8トレンチ以北に主に堆積していた。過去の調査例から8層上面が遺構確認面になると推定できるが、13ヶ所全てのトレンチで遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

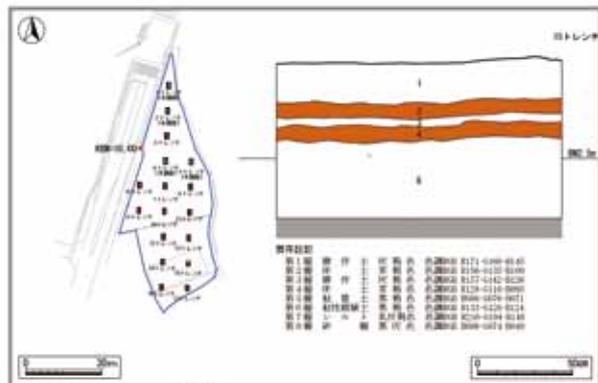
調査の成果 市段階の判断では遺跡範囲中の空白域、あるいは消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会い調査が妥当であると考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成27年12月16日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と15トレンチ北壁断面図(1/3,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B 24 伊勢堰遺跡 ISESEGI 第16地点

所在地 三島市梅名地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 24.0㎡ (468.34㎡)
 調査の期間 平成28年1月7日
 調査の原因 個人住宅建設に伴う確認調査

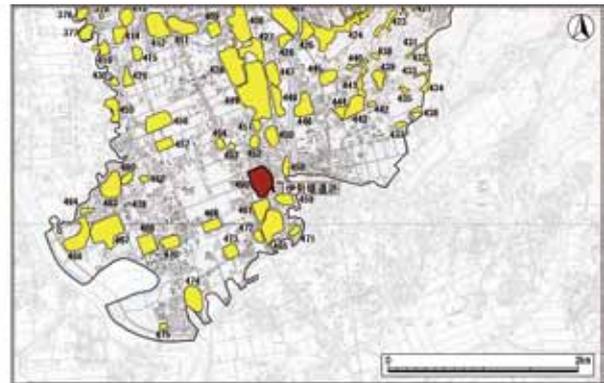
遺跡の位置 三島市遺跡地図No460伊勢堰遺跡は、三島駅の南南東(N-155.5°-E)4.34km、御殿川右岸の微高地上に位置し、標高約12.0mを測る。

【緯度35度05分26.16秒・経度138度55分54.55秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを3箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は5.12%であった。調査は重機(01)によって耕作土を排除した後、作業員5名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、遺構・遺物の検出に努めた。層序の確認は1トレンチの北壁断面で行い、4層に分層した。1層は畑作耕作土、2層は灰褐色の粘質土、3層は基盤層となる茶褐色の砂層、4層は黒灰色の遺構覆土であった。3層上面で遺構の確認を行い、2本の溝状遺構を確認した。1トレンチの溝状遺構は推定幅約5mで箱根田遺跡第3地点から北北東に延びる流路の延長上に位置する。3トレンチの東側一帯には土師器と須恵器の破片が散布していたが、耕作中に出土した土器類を集めたものである。

遺構と遺物 遺構 溝、遺物 土師器・須恵器

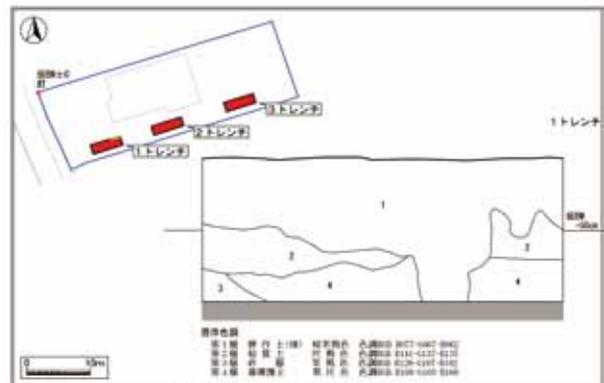
調査の成果 事業地全域に遺跡が存在する事が事実となったが、事業者は55cmの盛り土を計画しているので、遺跡保護層を確保できると判断した。発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年1月22日付で指示通知(立会調査)があり、事業者と遺跡保護に関わる協定書を締結後に立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と1トレンチ北壁断面図(1/1,200・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
ⅡB25 伊勢堰遺跡 ISESEGI 第17地点

所在地 三島市安久地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 16.0㎡ (987.00㎡)
 調査の期間 平成28年1月14日
 調査の原因 集合住宅建設に伴う確認調査

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.460伊勢堰遺跡は、三島駅の南南東(N-155.0°-E)4.43km、御殿川右岸の微高地上に位置し、標高約12.0mを測る。

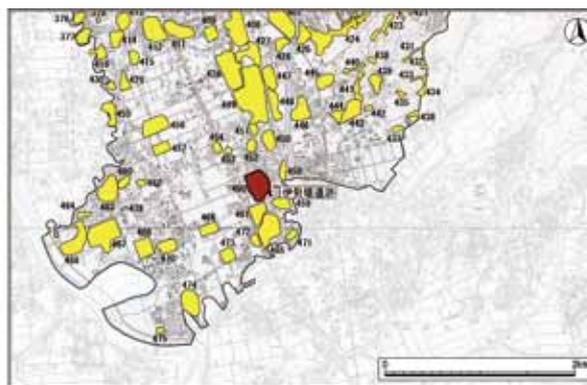
【緯度35度05分23.25秒・経度138度55分57.30秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲内に1.6m×2.5mのトレンチを2箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は1.62%であった。調査は重機(01)によって耕作土を排除した後、作業員4名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返した。層序の確認は1トレンチの北壁断面で行い、5層に分層した。1層は畑作耕作土、2層は明灰褐色の粘質土、3層は少量の遺物を含む灰褐色土、4層は黄褐色の粘質土、5層は灰褐色の遺構覆土である。4層上面で遺構の確認を行い、溝状遺構と複数の柱穴を確認した。溝状遺構は平成20年に発掘調査を実施した第6地点第1号溝の延長上にあり、調査範囲外まで続くものである。また、柱穴は溝状遺構に伴う塀、あるいは堀立柱建物のものと推定できる。

遺構と遺物 遺構 溝状遺構・柱穴

遺物 土師器・須恵器

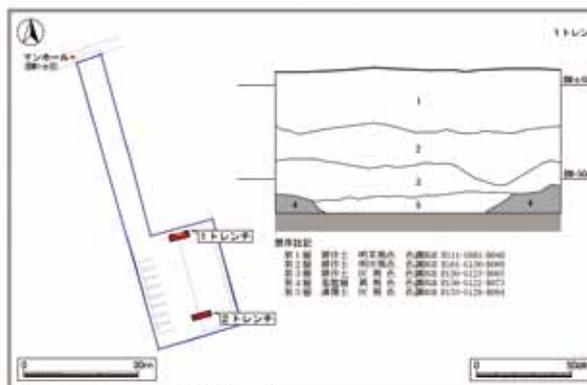
調査の成果 事業地全域に遺跡が存在する事が事実となったが、事業者は35cmの盛り土を計画しているので、遺跡保護層を確保できると判断した。本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年1月27日付で指示通知(立会調査)があり、事業者と遺跡保護に関わる協定書を締結後に立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と1トレンチ北壁断面図(1/2,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B 26 中ノ坪遺跡 NAKANOTUBO 第11地点

所在地 三島市長伏地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 4.0㎡ (118.41㎡)
 調査の期間 平成28年1月26日
 調査の原因 農業用倉庫建設に伴う確認調査

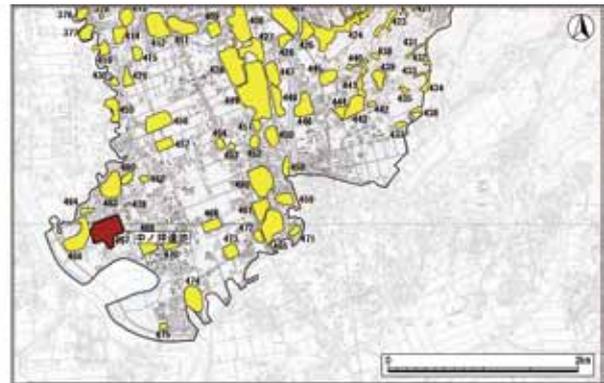
遺跡の位置 三島市遺跡地図No467中ノ坪遺跡は、三島駅の南 (N-177.0°-E) 4.30km、狩野川と境川の合流点東側の後背湿地に位置し、標高約10.5mを測る。

【緯度35度05分14.65秒・経度138度54分51.21秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.6m×2.5mのトレンチを1箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は3.38%であった。調査は重機(01)によって盛り土層を排除した後、作業員2名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返した。層序の確認はトレンチの東壁断面で行い、3層に分層した。1層は暗灰褐色の盛り土層、2層は黒褐色の粘性土、3層は基盤層となる黒色の硬砂層であった。3層上面で遺構の確認を行ったが、いずれの層位からも遺構と遺物は出土しなかった。また水田耕作土、あるいは水田床土に相当する堆積が全く存在しないことから、聞き取り調査を行ったところ、水田に盛り土を行うのに先立って、表土層のすき取りをしている事が判明した。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

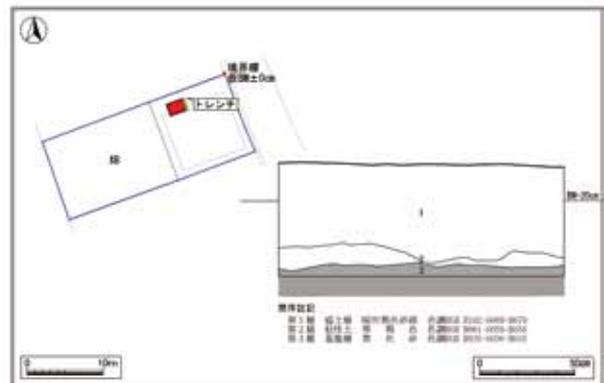
調査の成果 市段階の判断では事業地が遺跡範囲中の空白域、あるいは後世の地形改変による遺跡の消滅地と理解したので、本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当であると考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年2月3日付で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と東壁断面図 (1/1,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
IB27 反り田遺跡 SORIDA 第2地点

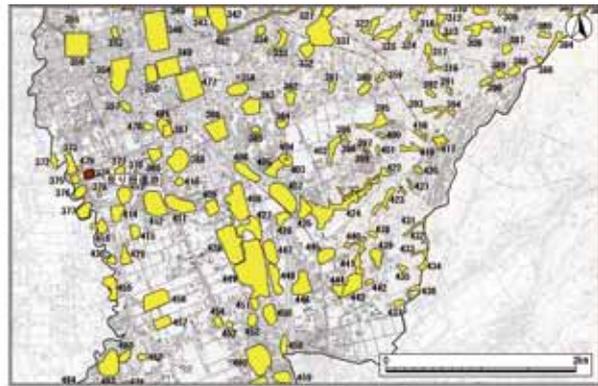
所在地 三島市玉川地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 56.0㎡ (2,549.87㎡)
 調査の期間 平成28年2月2日
 調査の原因 ドライブイン建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.374反り田遺跡は、
 三島駅の南(N-0.0°-E)1.91km、境川左岸の微
 高地上に位置し、標高約18.3mを測る。

【緯度35度06分31.14秒・経度138度54分42.42秒】

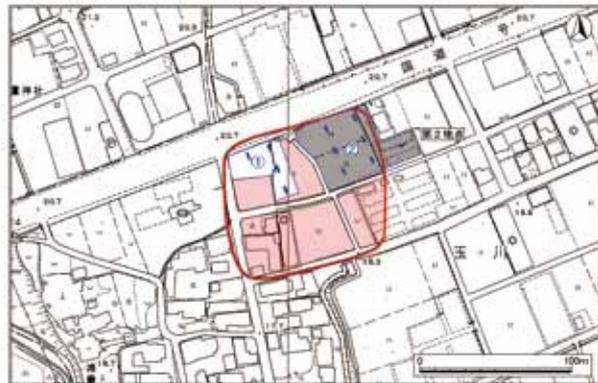
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して
 行い、事業地に1.6m×2.5mのトレンチを7箇所
 配置した。事業面積に対する確認調査率は2.20%
 であった。調査は重機(02)による無遺物層の除
 去をした後に、作業員5名の手掘りによる排土と
 平面確認を繰り返し、表土下0.30mまで掘り下げ
 た。2トレンチの北壁で層序の確認を行い、2層
 に分層した。1層は現代の水田耕作土、2層は本
 地域の基盤層となる砂礫層で上面には鉄分の沈着
 が顕著に見られた。調査範囲のいずれのトレン
 チにおいても表土層の堆積が薄く、耕作土直下が基
 盤層となり、遺物は出土しなかった。また6ト
 レンチ南端で幅45cm、深さ16cmの溝を確認したが、
 覆土が粗く柔らかい堆積であった事から新しい時
 代の溝と推測でき、発掘調査の調査対象となる遺
 構と判断する事はできなかった。

遺構と遺物 遺構 なし
 遺物 なし

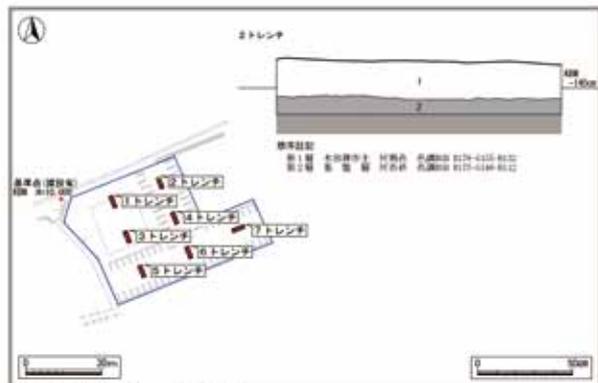
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中
 の空白域と理解したので、本発掘調査の必要性は
 なく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93
 条第1項の届出と共に立会調査の副申を進達し
 た。静岡県教育委員会からは平成28年2月22日付
 で指示通知(立会調査)があり、立会調査を実施
 して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
 2トレンチ北壁断面図(1/3,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B 28 **箱根田遺跡** HAKONEDA 第8地点

所在地 三島市安久地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 22.0㎡ (1,912.95㎡)
 調査の期間 平成28年2月9日
 調査の原因 集合住宅建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No461箱根田遺跡は、

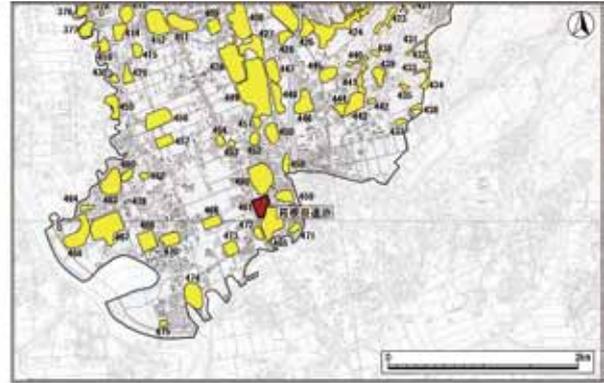
三島駅の南南東(N-158.0°-E)4.61km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高約12.1mを測る。

【緯度35度05分14.37秒・経度138度55分52.08秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業地に2.0m×5.0mのトレンチを2箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は1.15%であった。調査は重機(02)によって盛り土層を排除した後に、作業員4名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返した。層序の確認は2トレンチの西壁断面で行い、9層に分層した。1層は碎石、2・3層は盛り土、4層は水田耕作土、5層は水田床土で鉄分の沈着が顕著に見られた。6層は灰色の粘性シルト層で本層上面が遺構確認面となる。7層は暗灰色の粘性土と細砂の互層からなるこの地域の基盤層である。8・9層は暗灰色の粘性土で水路状遺構の覆土になる。この水路状遺構は平成11年に発掘調査を実施した第3地点の河川跡の延長部に当たるが、遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 溝状遺構、遺物 なし

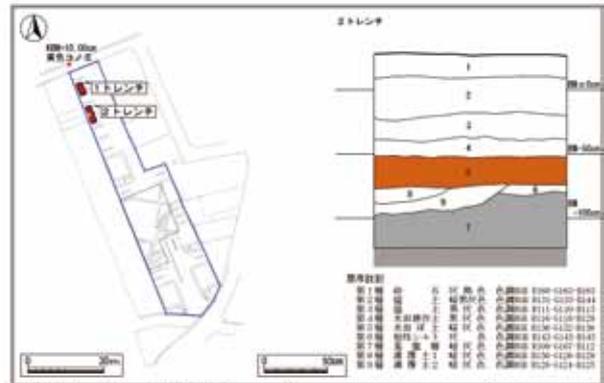
調査の成果 事業地の全域に遺跡が存在する事が確実となったが、事業者は盛り土の積み増しを計画しているので、遺跡の保護層を確保できると判断した。本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会い調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年2月26日付で指示通知(立会調査)があり、事業者と遺跡保護に関わる協定書を締結後に立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と2トレンチ西壁断面図(1/3,000・1/60)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
Ⅱ B 29 市ヶ原廃寺 ICHIGAHARA 第5地点

所在地 三島市大社町地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 16.0㎡ (656.18㎡)
 調査の期間 平成28年 2月23日

調査の原因 集合住宅建設工事に伴う確認調査

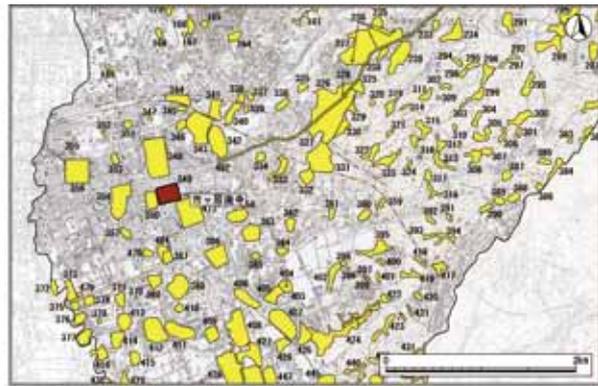
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.349市ヶ原廃寺は、
 三島駅の南南東 (N-147.0°-E) 1.08km、大場川
 右岸の微高地上に位置し、標高約24.7mを測る。

【緯度35度07分8.16秒・経度138度55分11.78秒】

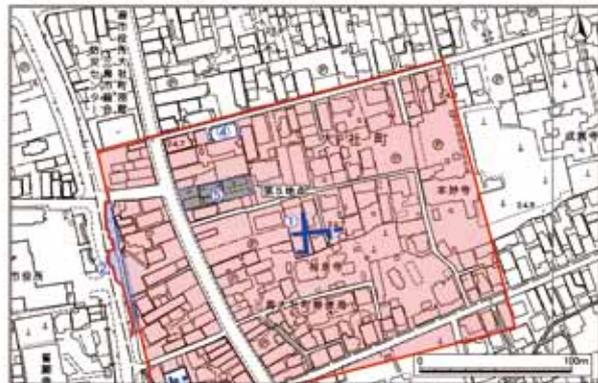
調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して
 行い、事業地に1.6m×2.5mのトレンチを10m間
 隔に4箇所配置した。事業面積に対する確認調査
 率は2.44%であった。調査は重機 (02) によって
 盛り土層を除去した後に、作業員5名の手掘りによ
 る排土と平面確認を繰り返した。層序は大きく
 4層に分層でき、1層は建物解体時に搬入した暗
 灰色の碎石層、2層は15cm以下の瓦片や礫を含む
 盛り土層、3層は径10cm以下のコンクリート片
 や碎石を含む盛り土層、4層がこの辺の基盤層と
 なる灰褐色の砂礫層となる。本地点は旧建物の基
 礎による攪乱が激しく、層序の確認を行った1ト
 レンチでは2層が存在しなかった。4層の上面は
 攪乱を受けている事、2、3トレンチは旧建物の
 地下梁により深さ2m以上の堀削が行われていた
 事、4トレンチも基盤層上面まで錯乱を受けてい
 る事が明らかになった。いずれのトレンチからも
 遺構と遺物は出土しなかった。

遺構と遺物 遺構 なし、遺物 なし

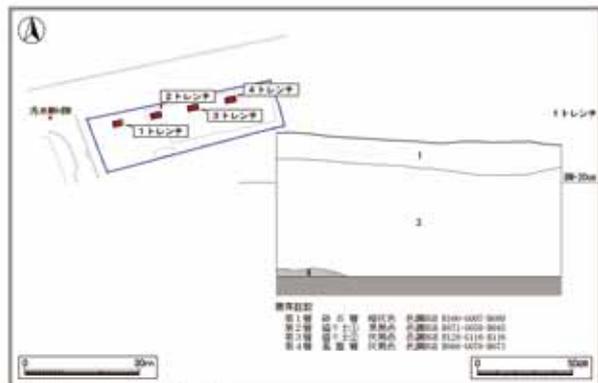
調査の成果 市段階の判断では事業地は遺跡範囲中
 の空白域、あるいは遺跡の消滅地と理解したので、
 本発掘調査の必要性はなく工事立会いが妥当と考
 え、文化財保護法第93条第1項の届出と伴に副申
 を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年3
 月1日付けで通知 (立会調査) があり、立会調査
 を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
 1トレンチ東壁断面図 (1/2,000・1/40)



写真 調査状況

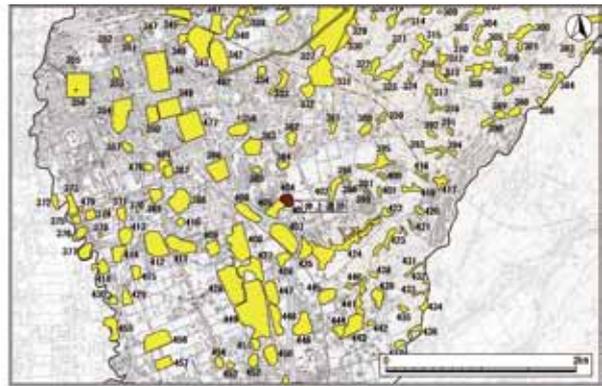
埋蔵文化財調査 試掘・確認調査(補助金充当)
井上遺跡 INOUE 第6地点

所在地 三島市谷田字井ノ上地先
 調査主体者 三島市教育委員会
 調査担当者 文化振興課 学芸員 辻真人
 調査の面積 32.0㎡ (1,138.72㎡)
 調査の期間 平成28年3月16日～3月17日
 調査の原因 通所介護施設建設工事に伴う確認調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No.403井上遺跡は、三島駅の南東 (N-131.0°-E) 2.67km、大場川右岸の微高地上に位置し、標高約17.4mを測る。

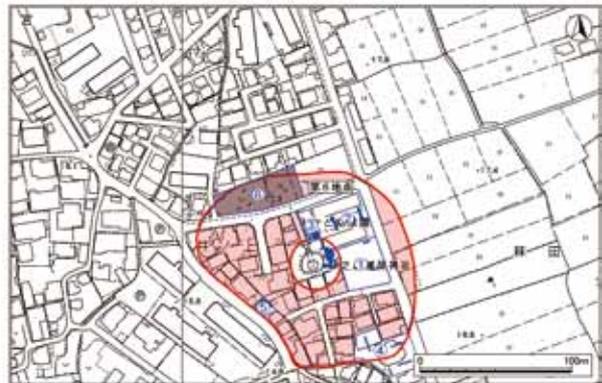
【緯度35度06分36.85秒・経度138度56分01.89秒】

調査の概要 調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業地に1.6m×2.5mのトレンチを8箇所配置した。事業面積に対する確認調査率は2.81%であった。調査は重機(01)による無遺物層の除去をした後に、作業員延べ14名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、表土下0.80mまで掘り下げた。安定的な堆積を示す4トレンチ東壁で層序の確認を行い、5層に分層した。1層と2層は灰褐色の耕作土、3層は鉄分を多く含む明褐色の床土。4層は遺物包含層となる黒褐色の腐植土で3・7・8トレンチから古墳時代の土器が少量出土したが、1・2・5・6トレンチに4層はほとんど存在しなかった。5層は基盤層となる黄褐色土層で硬い部分と柔らかい部分が混在する。本層上面で遺構の確認をしたが、遺構を確認する事はできなかった。

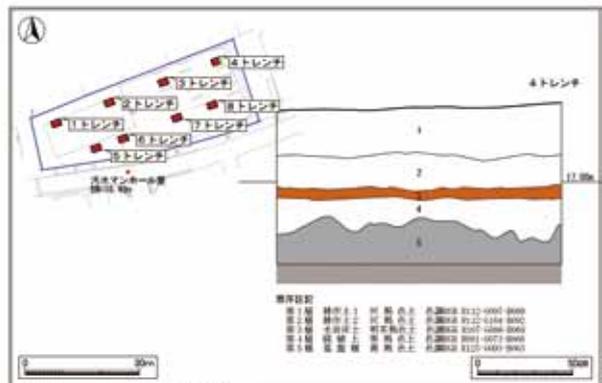
遺構と遺物 遺構 なし、遺物 土師器、須恵器
 調査の成果 市段階の判断では事業地の西側を遺跡範囲中の空白域、東側を遺跡の存在する可能性の高い範囲と理解した。事業者は地下調整池の位置を変更し遺跡破壊の恐れがなくなったので本発掘調査の必要性はなく、工事立会いが妥当と考え文化財保護法第93条第1項の届出と伴に立会調査の副申を進達した。静岡県教育委員会からは平成28年10月5日付で指示通知(立会調査)があり、事業者と遺跡保護に関わる協定書を締結後に立会調査を実施して全ての現地調査を完了した。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 トレンチ配置と4トレンチ東壁断面図 (1/2,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 確認調査(外部組織)
II C 1 長命洞B遺跡 CHOUHEI BORA
 第2地点

所在地 三島市大場
 調査主体者 静岡県教育委員会
 調査担当者 文化財保護課 主査 井鍋誉之
 調査の面積 12.0㎡
 調査の期間 平成28年1月28日～2月2日
 調査の原因 東駿河湾環状道路整備事業に伴う確認調査

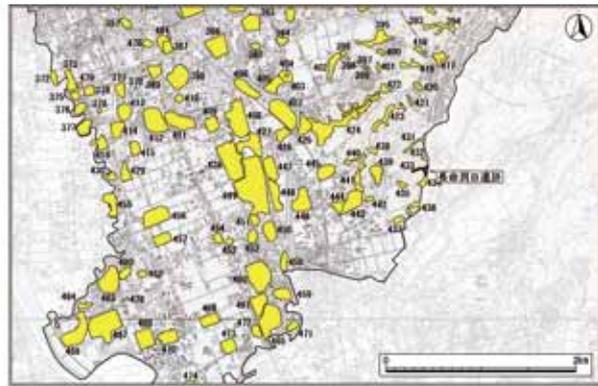
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.433長命洞B遺跡は三島駅の南東(N-51.0°-E)4.40km、箱根山西麓で、西・南方向に分岐する尾根の稜部に位置する古墳時代の散布地であり、標高は60～80mを測る。事業予定箇所に重複する範囲内で、尾根分岐の基部に相当する最も標高値が高い地点については、平成27年3月に周辺の長命洞A遺跡、大場向山A遺跡とともに確認調査を実施しており、遺構・遺物は検出されていない。今回の調査地点は遺跡範囲中央の西方向に延びる尾根稜部にあたる。

【緯度35度06分03.59秒・経度138度56分59.64秒】

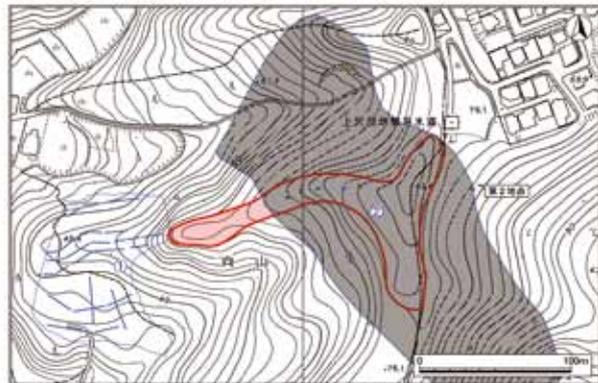
調査の概要 今回の調査は東駿河湾環状道路整備事業に伴い、事業予定地内の遺跡分布密度・内容の確認を目的として実施した。調査方法はトレンチ調査法を利用して行い、事業範囲に1.0m×4.0m(4.0㎡)のトレンチを3箇所配置した。調査はトレンチ設営後に作業員6名の手掘りによる排土と平面確認を繰り返し、地表下0.5～1.0mまで遺構・遺物の検出に努めた。調査の結果、山体基盤の上部にあたる硬質の黄褐色ローム層まで掘削を進めたが、遺構と遺物は確認されなかった。

遺構と遺物 遺構 なし
 遺物 なし

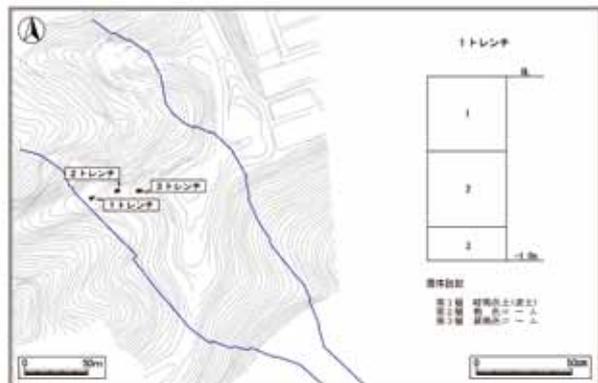
調査の成果 以上により、当該箇所は遺跡範囲中の分布が希薄な部分と判断される。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と
1トレンチ土層柱状図(1/6,000・1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 確認調査(外部組織)
 搦子地遺跡 SHAGOJI 第2地点

所在地 三島市平田地内
 調査主体者 静岡県教育委員会
 調査担当者 文化財保護課 主査 井鍋誉之
 調査の面積 8.0㎡
 調査の期間 平成28年3月23日
 調査の原因 境川総合流域防災事業に伴う試掘調査
 遺跡の位置 三島市遺跡地図No416搦子地遺跡は、

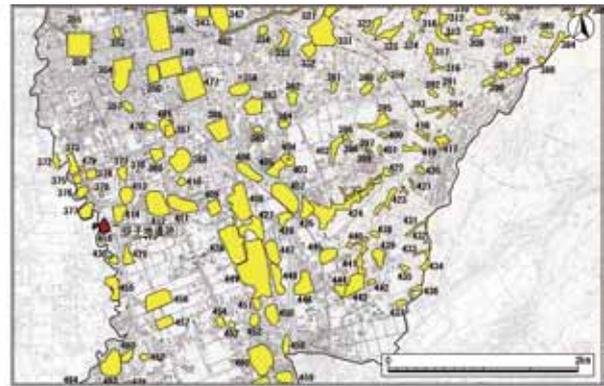
三島駅の南(N-2.0°-E)2.60km、境川中流蛇行帯の左岸側微高地上に位置し、標高15m前後を測る。調査地点は遺跡登録範囲の南外側に位置する。

【緯度35度06分9.96秒・経度138度54分46.67秒】

調査の概要 今回の調査は境川総合流域防災事業に伴う試掘調査で事業予定地内の遺跡分布範囲の確認を目的として実施した。調査方法はテストピット調査法を利用して行い、事業範囲に2.0m×2.0m(4.0㎡)のテストピットを2箇所配置した。調査はテストピット設営後に重機掘削による排土と平面確認を繰り返し、表土下1.4~1.7mまで遺構遺物の検出に努めた。調査の結果、湛水地に特徴的な鉄分の集積が著しい粘土、シルト、砂礫層の堆積が捉えられたが、遺構と遺物は確認されなかった。

遺構と遺物 遺構 なし
 遺物 なし

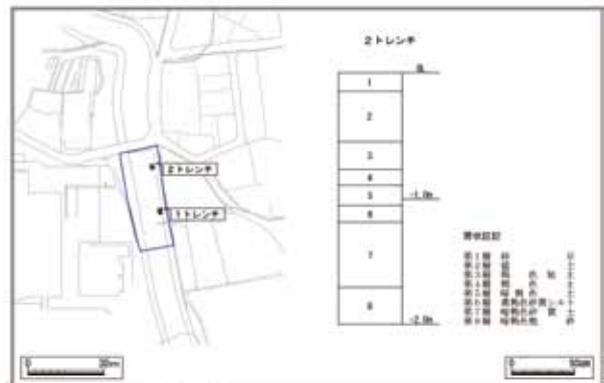
調査の成果 以上により、当該箇所には遺跡の分布は及んでいないと判断される。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 トレンチ配置と2トレンチ土層柱状図(1/4,000・1/60)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 立会調査(外部組織)
II D 1 伊豆国分寺跡 IZUKOKUBUNJI 第13地点

所在地 三島市広小路～泉町
 調査主体者 静岡県教育委員会
 調査担当者 文化財保護課 主査 井鍋誉之
 調査の期間 平成27年 8月28日
 調査の原因 交通環境改善緊急対策事業工事に伴う
 立会い調査

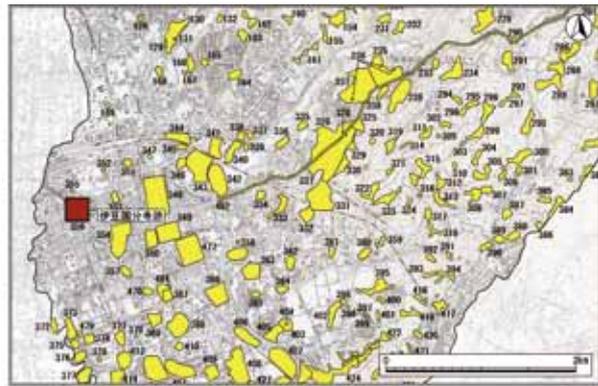
遺跡の位置 三島市遺跡地図No.356伊豆国分寺跡は
 三島駅の南南西 (N-14.0°-E) 0.58km、黄瀬川扇
 状地上に位置する古代寺院跡であり、現地表面の
 標高は28～31mを測る。

【緯度35度07分15.53秒・経度138度54分36.71秒】

調査の概要 今回の調査は交通環境改善緊急対策事
 業工事に伴う立会い調査である。道路拡幅に伴う
 側溝再設置のための工事(現地表下1.2mまで重
 機掘削)に立会い、埋蔵文化財の状況確認を行っ
 た。掘削範囲・深度は既工事实施部分の内部に収
 まるため、現行舗装道路の路床盤、埋設管保護土
 等、現代の攪乱を捉えたものの、遺構・遺物は確
 認されなかった。

遺構と遺物 遺構 なし
 遺物 なし

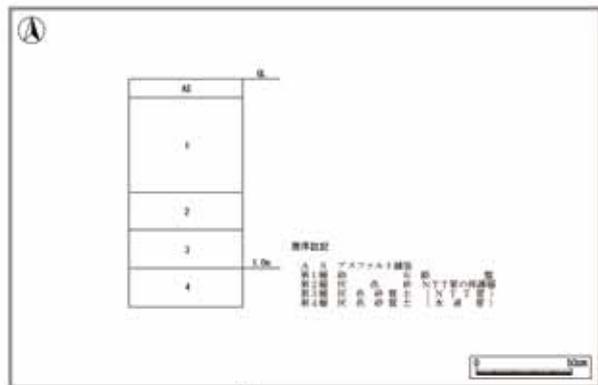
調査の成果 以上により、今回立会い箇所は工事掘
 削部底面まで攪乱が及んでおり、当該深度以上
 に遺跡が残存していないことが確認された。



第1図 調査遺跡の位置 (1/80,000)



第2図 調査地点の位置 (1/5,000)



第3図 土層柱状図 (1/40)



写真 調査状況

埋蔵文化財調査 立会調査(外部組織)
II D ② 山中城 I・J 遺跡 YAMANAKAJOU
 第1・2地点

所在地 三島市エビノ木地内
 調査主体者 静岡県教育委員会
 調査担当者 文化財保護課 主査 井鍋誉之
 調査の期間 平成27年9月7日
 調査の原因 県単内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業工事に伴う立会い調査

遺跡の位置 三島市遺跡地図No.249山中城I遺跡、No.250山中城J遺跡は、三島駅の北東(N-113.0°-E)7.00km、箱根山西麓で農地造成により平坦化した尾根上に位置する。標高は420～430mを測る。山中城I遺跡は古墳時代、山中城J遺跡は縄文時代の散布地として登録されている。

I【緯度35度09分06.21秒・経度138度58分57.59秒】

J【緯度35度09分05.07秒・経度138度58分54.60秒】

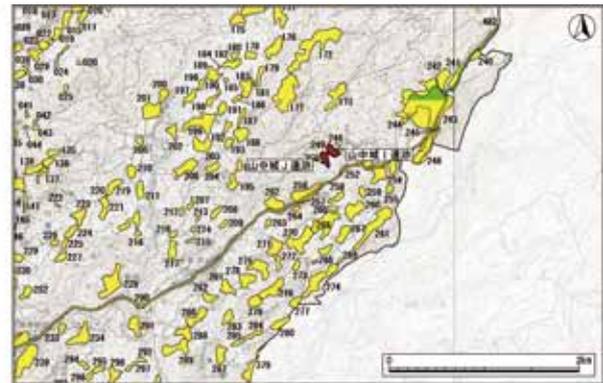
調査の概要 今回の調査は県単内陸フロンティア企業誘致促進農業基盤整備事業工事に伴う立会い調査である。当該箇所では平成27年3月に確認調査を実施しており、山中城J遺跡範囲内の畑耕作土表面で少量の縄文土器片が採取されたものの、設定・掘削したテストピット・トレンチ内部では遺構・遺物が確認されなかったため、埋蔵文化財分布が希薄な範囲として、文化財保護法第94条の協議で工事立会いの取扱いとなった経緯がある。既設農道拡幅のための掘削・削平工事に立会い、埋蔵文化財の状況確認を行った。

土層記録を行ったいずれの箇所でも表土(畑耕作土・攪乱土)の直下では、旧石器時代に比定される火山灰ロームが表出し、縄文時代以降に形成された土層は残存しておらず、遺構・遺物は確認されなかった。

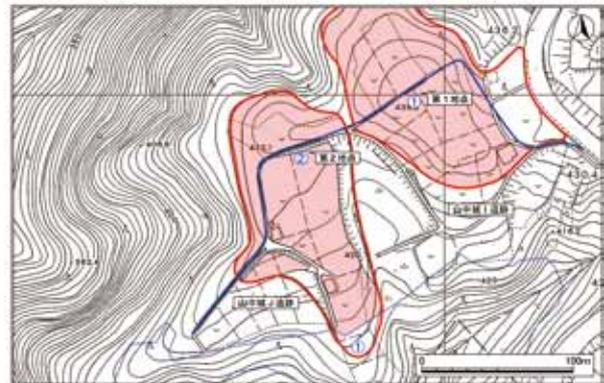
遺構と遺物 遺構 なし

遺物 なし

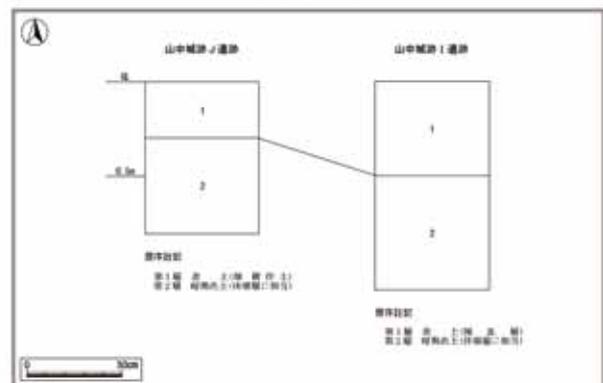
調査の成果 以上により、当該箇所は遺物包含層に相当する土層が失われていた範囲と判断される。



第1図 調査遺跡の位置(1/80,000)



第2図 調査地点の位置(1/5,000)



第3図 土層柱状図(1/40)



写真 調査状況



市内遺跡整理調査事業は、国・県補助金、市一般財源により調査された個人住宅建設や各種開発に伴う試掘・確認調査、過去の未報告遺跡、市内各所に保存されている考古資料について遺物整理作業を実施して報告書を刊行し、埋蔵文化財の記録保存を図る事業である。本事業は平成元年度から開始され、これまでに20冊の報告書を刊行した。平成27年度は、平成25年度に補助金を利用して確認調査を実施した18遺跡を対象に「三島市埋蔵文化財発掘調査報告 補助事業版第2号」の刊行準備を行った。同書は平成28年度に刊行予定である。

第1表「三島市埋蔵文化財発掘調査報告 補助事業版第2号」所収遺跡とその内容

章	所収遺跡名	時代	主な遺構	特記事項
第1章 確認調査 (平成25年度)	上阿弥陀遺跡 第3地点 初音ヶ原B遺跡 第16地点 壺町田遺跡 第3地点 西遺跡 第6地点 堀込遺跡 第6地点 上才塚遺跡 第7地点 下久保遺跡 第3地点 安久奥屋敷遺跡 第3地点 塔ノ森廃寺 第8地点 三島代官所跡 第4地点 伊勢堰遺跡 第14地点 伊豆国分寺跡 第11地点 向山古墳群 第18地点 伊勢堰遺跡 第15地点 長伏遺跡 第6地点 元町田遺跡 第2地点 塚原初音原遺跡 第3地点 塚原初音原遺跡 第4地点			

推定平安・鎌倉古道と箱根旧街道

平安鎌倉古道は、箱根旧街道整備以前の道として平安～室町時代まで盛んに使用されていた。経路は、三嶋大社の北から川原ヶ谷、山田、元山中を経て箱根に至る山路と推定されるが、現況は、元山中から扇平を経て芦ノ湖高原別荘地に至る間に、風情を残した道筋が残っている。ここには「推定平安鎌倉古道」の石標を設置してある。

箱根旧街道は、伊豆と相模の国境、境木から三島宿までの3里9町の区間であるが、国道等の建設により多数の地点で分断した状態で残されている。街道に石が敷きつめられたのは、延宝8年（1680年）で、その後明和6年・天明7年・文久元年にも改修されている。現在、石畳も昔日の面影を伝える場所が少なくなり、市では平成6～9年度にかけて、願合寺地区・腰巻地区・浅間平地区・上長坂地区・笹原地区1,896mの整備を実施した。なお、街道施設として、一里塚とともに並木がつくられたのは慶長9年（1604年）前後のことと思われる。今から約400年以前のことであるが、現在も一部ではあるが、市内初音台地先の国道1号沿いの約0.9kmに往時の並木の風情を残している。



箱根旧街道は、既に国史跡の指定を受けていた錦田一里塚の統合なども含め、平成16年10月18日に三島市・函南町・箱根町の1市2町合同で新たに国史跡に指定されている。市では、箱根旧街道や推定平安鎌倉古道の保存とハイカーの利便を図るため、下刈りを地元自治会に委託して保護保存に努めており、また、松並木は補植の松を含め約390本を数えるが、貴重な文化財として、国道を走る自動車の排気ガスや松くい虫などの害虫から守るため種々の方策を講じている。

推定平安鎌倉古道下刈り ①

実施区間は、広域基幹林道北箱根山線から芦ノ湖高原別荘地までの3.2kmである。実施時期は平成27年5月15日～10月30日の間に2回行い、事業費は170,000円である。

箱根旧街道下刈り ②～⑧

実施区間は、山中新田の願合寺地区②・腰巻地区③・浅間平地区④・上長坂地区⑤と、笹原新田の下長坂地区⑥、市山新田の題目坂地区⑦・白転坂地区⑧である。実施時期は平成27年5月15日～10月30日の間に2回行い、事業費は320,000円である。

箱根松並木維持管理 ⑨

実施区間は、川原ヶ谷地先の松並木敷（片道延長約900m）である。契約期間は平成27年6月4日～平成28年3月11日で、期間内に石畳遊歩道及び並木敷きの清掃（4回）、植栽帯の刈り込み及び薬剤散布、並木

敷きの下刈り（3回）である。事業費は2,134,080円である。

松並木コモ巻き ⑨

コモ巻きは、幹径350mm以上の松のうち約190本に平成27年11月8日（立冬）に行い、コモ外しは平成28年3月5日（啓蟄）に実施した。契約期間は平成27年10月1日～平成28年3月10日で、事業費は380,000円である。

松並木薬剤注入 ⑨

薬剤注入は、胸高直径350mm以上450mm未満の松のうち42本を対象に、平成28年2月24日にグリーンガードエイトを258本注入した。厳寒期に実施する必要があるため、契約期間は平成28年2月10日～3月11日で、事業費は1,028,160円である。

初音松並木枯死松伐採 ⑨

国指定史跡箱根旧街道内の松並木において枯死した松2本の伐採と、衰弱した松の樹勢回復を目的とした宿木（寄生木）の駆除、落葉によって苦情のあったエノキの枝下しを平成28年2月23日に実施した。契約期間は平成28年2月9日～3月10日で、事業費は216,000円である。

初音松並木薬剤散布（緊急） ⑨

国指定史跡箱根旧街道内の松並木においてマツ毛虫（マツカレハの幼虫）が異常発生したため、平成27年11月17日の早朝に緊急薬剤散布を行った。契約期間は平成27年11月8日～平成27年12月7日で、事業費は302,400円である。



コモ巻き後の景観



マツ毛虫の食害



薬剤注入作業



薬剤注入

史跡山中城跡整備事業

山中城は、戦国時代末期、後北条氏により箱根西麓の急峻な斜面に囲まれた自然の要害に築城された山城である。昭和9年に国史跡に指定され、山中バイパス建設計画を契機に、昭和48年から平成5年まで全面的に復元工事が行われた。三島市制40周年にあたる昭和56年に史跡公園として一般公開されて以降、障子堀・畝堀などの築城術が実際に見学できる歴史学習の場として多くの人に親しまれてきたが、第1期整備時からの経年により、傾斜のきつい堀では土砂の崩壊が発生、木製施設や排水溝などの埋設物は老朽化が進むなど、整備の必要性が出てきた。

そこで、平成21・22年に「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」による改修事業（詳細は三島市文化財年報第23号に記載のとおり）が行われ、平成23年から同25年にかけては「重点分野雇用創造事業交付金」を利用して成長しすぎた樹木の伐採・剪定を実施した。また、「史跡山中城跡整備計画策定懇話会」の平成20年10月8日付最終答申を基本計画に、平成24年から30年の7ヵ年計画で修復事業を実施している。平成24年度は、12地点について土塁・堀等の崩落状況を確認するために確認調査及び測量設計業務を実施し、それに伴い2回の再整備検討委員会を開催した。平成25年度は、西ノ丸物見台・土塁、元西櫓土塁の一部、二ノ丸西堀の一部の再整備工事と2回の再整備検討委員会、平成26年度には、西櫓土塁、元西櫓土塁の残りの範囲、二ノ丸西堀の残りの範囲、二ノ丸西堀橋の再整備工事と1回の再整備検討委員会、平成27年度は、本丸西堀橋、本丸西堀土塁の一部、兵糧庫休憩所、北ノ丸土塁の再整備工事と1回の再整備検討委員会を開催した。

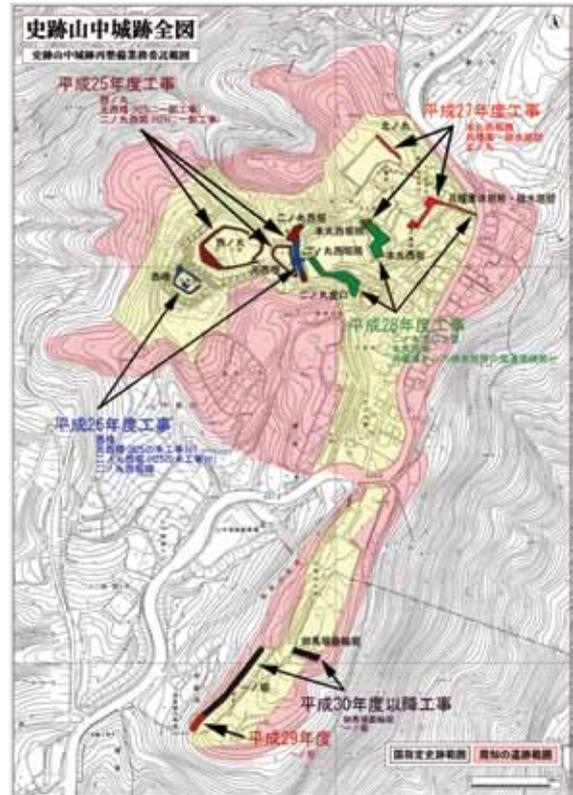


写真 本丸西堀橋



写真 兵糧庫



昭和36年4月1日に施行された「三島市文化財保護条例」に基づき、三島市文化財保護審議委員会が同年12月に設置された。委員の定数は10名以内、学識経験者を教育委員会が委嘱し、任期は2年間である。教育委員会の諮問により、文化財の保存及び活用についての専門的及び技術的事項を調査審議するため設置されている。

また委員の資質向上のための行政視察を、三島市郷土資料館運営協議会と合同で実施した。

活動内容

第1回三島市文化財保護審議委員会 平成27年5月28日

- (1) 妙法華寺忠霊殿の千体仏について
- (2) 塚原新田の普門院について
- (3) 市指定文化財の修復補助金について
- (4) 平成27年度の視察について

第2回三島市文化財保護審議委員会 平成28年3月25日

- (1) 三島市指定文化財の今後の候補について
- (2) 平成28年度の視察地について
- (3) その他

三島市文化財保護審議委員会現地調査 平成27年7月7日

妙法華寺忠霊殿の千体仏と塚原新田の普門院の聖観音像等の調査

三島市文化財保護審議委員会・郷土資料館運営協議会合同視察

平成27年11月17日

静岡県伊豆地方の文化財（韮山反射炉、堂ヶ島の水底土石流、西伊豆町一色の枕状溶岩、松崎町の文化財、黄金崎の熱水変質等）



写真 文化財保護審議委員会



写真 韮山反射炉の視察

委員会及び協議会



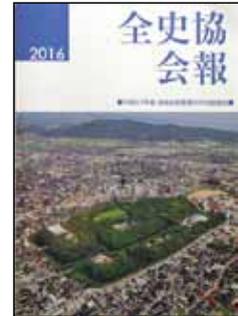
全国史跡整備市町村協議会及び東海地区協議会

目的及び経過

加盟市町村が協調して史跡等の整備に関する調査研究及びその具体的方策の推進を図り、もって文化財の保存と活用に資することを目的とする。

全国史跡整備市町村協議会は、昭和41年6月3日に設立、平成27年10月7日現在567市町村が加盟している。三島市の加盟は、昭和48年山中城跡公園整備の頃で、当初から理事を務めている。

全国史跡整備市町村協議会東海地区協議会は、平成10年2月4日設立、平成28年7月1日現在49市町が加盟している。三島市は、大垣市、明和町とともに発起人となり、設立準備の段階から加わり、現在、副会長を務めている。



平成27年度の活動

全国史跡整備市町村協議会

・第1回役員会	開催日：平成27年7月3日（金）	会場：東京都千代田区 都市センターホテル
・担当部課長会議	開催日：平成27年8月28日（金）	会場：東京都千代田区 都市センターホテル
・第2回役員会	開催日：平成27年10月7日（水）	会場：富山県 ホテルニューオータニ高岡
・大会	開催日：平成27年10月7日（水） ～9日（金）	会場：富山県 ホテルニューオータニ高岡
・第3回役員会	開催日：平成27年11月11日（水）	会場：東京都千代田区 都市センターホテル
・臨時大会	開催日：平成27年11月12日（木）	会場：東京都千代田区 ホテルニューオータニ

全国史跡整備市町村協議会東海地区協議会

・第1回担当課長会議	開催日：平成27年6月22日（月）	会場：愛知県名古屋市 カネジュービル6階
・役員会	開催日：平成27年8月20日（木）	会場：三重県 伊勢シティホテル
・総会	開催日：平成27年8月20日（木）	会場：三重県 伊勢シティホテル
・臨時大会・陳情報告会	開催日：平成27年11月12日（木）	会場：東京都千代田区 ホテルニューオータニ

文化財啓発活動



文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が火災により焼損したことから、毎年1月26日は「文化財防火デー」と定められている。貴重な文化財を火災や震災、その他の災害から守るため、この日を中心とする期間に全国各地で文化財防火運動が展開され、国民の文化財愛護意識の高揚が図られている。

当市でも、文化財を所有管理する団体が、消防署の協力を得て、初期消火や放水訓練を行うと共に消防設備の点検を実施した。

- ・実施施設：楽寿園
実施日：平成28年1月22日（金）
- ・実施施設：三嶋大社
実施日：平成28年1月25日（月）
- ・実施施設：佐野美術館
実施日：平成28年2月2日（火）



付編1. 国指定文化財一覧表

平成29年3月31日現在

番号	種別	名称	員数	所有者・管理者	所在地	指定年月日	管理
1	国宝(工芸)	梅時絵手箱	1 具	三嶋大社	大宮町	昭和27年11月22日	1
2	国宝(工芸)	薙刀 銘備前国長船住人長光造	1 口	佐野美術館	中田町	昭和32年02月19日	2
3	重文(工芸)	太刀 銘宗忠	1 口	三嶋大社	大宮町	明治45年02月08日	3
4	重文(工芸)	脇指 銘相模国住秋義伊豆三嶋大明神奉拜 佐藤松千代貞成	1 口	三嶋大社	大宮町	大正09年04月15日	4
5	重文(工芸)	短刀 銘三嶋大明神他人不与之貞治三年 藤原友行 ※1	1 口	三嶋大社	大宮町	明治44年04月17日	5
6	重文(工芸)	太刀 銘長元	1 口	佐野美術館	中田町	昭和27年03月29日	7
7	重文(工芸)	短刀 銘国光	1 口	佐野美術館	中田町	昭和32年02月19日	9
8	重文(工芸)	刀 無銘正宗	1 口	佐野美術館	中田町	昭和36年02月17日	10
9	重文(工芸)	刀 朱銘義弘(名物松井郷) 本阿(花押)	1 口	佐野美術館	中田町	昭和29年03月20日	11
10	重文(工芸)	刀 金象嵌銘備前国兼光(名物大兼光) 本阿弥(花押)	1 口	佐野美術館	中田町	昭和34年06月27日	12
11	重文(工芸)	秋草文黒漆太刀拵 中身銘豊後国行平作	1 口	佐野美術館	中田町	昭和28年11月14日	13
12	重文(絵画)	絹本着色日蓮上人像	1 幅	妙法華寺	玉沢	大正08年08月08日	14
13	重文(絵画)	絹本着色十界勸請大曼荼羅圖(絵曼荼羅)	1 幅	妙法華寺	玉沢	大正09年04月15日	15
14	重文(彫刻)	木造大日如来坐像	1 躯	佐野美術館	中田町	昭和25年08月29日	16
15	重文(書跡)	注法華経(開結共) 日蓮自注	10 卷	妙法華寺	玉沢	昭和27年07月19日	17
16	重文(書跡)	撰時抄 日蓮筆	5 卷	妙法華寺	玉沢	昭和27年07月19日	18
17	史跡	山中城跡(98,183.00㎡) (19,673.91㎡ 追加指定)	1 遺跡	三島市	山中新田	昭和09年01月22日 昭和53年03月20日	20
18	史跡	伊豆国分寺塔跡	1 遺跡	伊豆国分寺	泉町	昭和31年05月15日	21
19	天然記念物	三嶋大社のキンモクセイ	1 本	三嶋大社	大宮町	昭和09年05月01日	22
20	天然記念物	楽寿園(小浜池:地質鉱物)	-	三島市楽寿園	一番町	昭和29年03月20日	23
21	名勝	楽寿園(小浜池:景観) ※5	-	三島市楽寿園	一番町	昭和29年03月20日	23
22	重文書跡	紙本墨書般若心経(源頼家筆) ※2	1 卷	三嶋大社	大宮町	平成06年06月28日	24
23	重文古文書	三嶋大社矢田部家文書 ※2	592 通	三嶋大社・矢田部正巳	大宮町	平成06年06月28日	25
24	重文建造物	三嶋大社本殿・幣殿・拝殿 ※3	1 棟	三嶋大社	大宮町	平成12年05月25日	26
25	史跡	箱根旧街道(錦田一里塚) ※4 (箱根旧街道 追加指定)	1 遺跡	三島市	箱根町・三島市・ 函南町	大正11年03月08日 平成16年10月18日	27
26	重文工芸	太刀 銘行秀	1 口	佐野美術館	中田町	昭和30年06月22日	28

※ 国指定重要工芸 管理番号6及び8は、平成25年、所有者が市内在住団体から市外在住団体と変更になった。

※1 国指定重要工芸 管理番号5は、昭和23年4月28日盗難、現在も所在不明。盗難届済。

※2 国指定重要書跡 管理番号24及び25は、平成6年6月28日付で県指定文化財 管理番号4と県指定文化財 管理番号11から指定区分を変更した。

※3 国指定重要建造物 管理番号26は、平成12年5月25日付で市指定文化財 管理番号5から分離して指定区分を変更した。

※4 管理番号19の史跡「錦田一里塚」(大正11年03月08日指定)は、平成16年10月18日付で「箱根旧街道」に統合された。

※5 指定当時は天然・名勝を実指定件数1件と記載していたところ、文化庁からの指示により平成28年度より2件に分割した。

付編2. 県指定文化財一覧表

平成29年3月31日現在

番号	種別	名称	員数	所有者・管理者	所在地	指定年月日	管理
27	工芸	刀 銘莊司筑前大掾大慶藤直胤(花押) 天保2年仲秋イッ(刻印)	1 口	鈴木紀夫	一番町	昭和41年03月22日	1
28	絵画	紙本着色白隠自画像	1 幅	龍沢寺	沢地	昭和45年06月02日	2
29	絵画	楽寿館・楽寿の間絵画 ※5	210 面	三島市	一番町	昭和55年11月28日	3
30	典籍	聚分韻略	1 冊	日本大学国際関係学部	文教町	昭和52年03月18日	5
31	典籍	日本書紀並びに具書	6 巻 6 軸	三嶋大社	大宮町	昭和55年11月28日	6
32	天然記念物	胸形諏訪神社の大カシ	1 本	胸形諏訪神社	山中新田	昭和46年03月19日	7
33	天然記念物	御嶽神社の親子モッコク	12 本	御嶽神社	青木	昭和46年03月19日	8
34	無形民俗	三嶋大社のお田打	-	三嶋大社のお田打奉仕者	大宮町	昭和47年03月24日	9
35	無形民俗	三島囃子 ※6	-	三島囃子保存会	川原ヶ谷	平成03年03月19日	10
36	史跡	向山古墳群(1~15号墳) (16号墳追加指定)	1 遺跡	三島市	谷田・北沢	平成11年03月15日 平成28年03月18日	12
37	工芸	刀 銘繁慶	1 口	佐野美術館	中田町	昭和41年02月07日	13
38	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1 躰	-	-	平成25年11月19日	14
39	工芸	三十六歌仙図刺繍額	12 面	三嶋大社	大宮町	平成27年03月13日	15

※ 書跡「紙本墨書般若心経(源頼家筆)」(昭和34年4月14日指定)と古文書「三嶋大社関係絵図」(平成5年3月26日指定)は、平成6年6月28日付で国指定重要文化財に指定された。なお、「三嶋大社関係絵図」は、「三嶋大社矢田部家文書」592通の中に含まれている。

※5 市指定文化財 管理番号3は、市指定文化財 管理番号13から指定区分の変更を受けた。

※6 市指定文化財 管理番号10は、市指定文化財 管理番号9から指定区分の変更を受けた。

付編3. 市指定文化財一覧表

平成29年3月31日現在

番号	種別	名称	員数	所有者・管理者	所在地	指定年月日	管理
40	考古資料	市ヶ原廃寺塔心礎	1 基	祐泉寺	大社町	昭和41年02月07日	1
41	典籍	河合家所蔵 三嶋厩及び同版本並びに関係文書	-	河合家・関守敏(三島市郷土資料館)	大宮町・一番町	昭和41年02月07日	2
42	工芸	龍澤寺隠室内入江長八鏡細工	-	龍沢寺	沢地	昭和41年02月07日	3
43	絵画	小沼満英筆 三島宿場風俗絵屏風	6 曲 1 双	三島信用金庫	芝本町	昭和41年02月07日	4
44	建造物	三嶋大社 舞殿、神門及びそれに属する彫刻 ※3	2 棟	三嶋大社	大宮町	昭和41年02月07日	5
45	建造物	玉澤妙法華寺庫裡	1 棟	妙法華寺	玉沢	昭和41年02月07日	6
46	工芸	織部どうろう	1 基	樋口家	南本町	昭和41年02月07日	7
47	天然記念物	愛染院跡の溶岩塚	-	三島市	一番町	昭和41年02月07日	8

番号	種別	名称	員数	所有者・管理者	所在地	指定年月日	管理
48	典籍	秋山家所蔵 秋山富南古文書 原本豆州志稿他7	20冊1枚	秋山家(三島市郷土資料館)	安久・一番町	昭和43年10月01日	10
49	典籍	樋口家所蔵 三島宿本陣関係史料	68冊	樋口家(三島市郷土資料館)	南本町・一番町	昭和45年02月14日	11
50	史跡	千枚原遺跡	1遺跡	三島市	千枚原	昭和46年05月04日	12
51	建造物	楽寿園内楽寿館	1棟	三島市	一番町	昭和49年11月20日	14
52	建造物	玉澤妙法華寺中鐘楼	1棟	妙法華寺	玉沢	昭和54年12月08日	15
53	絵画	栗原忠二画「月島の月」	1点	三島市郷土資料館	一番町	昭和55年10月08日	16
54	彫刻	金剛力士像(阿形像、吽形像)	1対	妙法華寺	玉沢	昭和57年02月23日	18
55	工芸	三四呂人形	36点	野口冬樹他・三島市郷土資料館	一番町	昭和58年10月07日	19
56	天然記念物	神明宮神社 社叢	境内	神明宮神社	御園	昭和60年11月11日	20
57	天然記念物	中のカシワ ※7	1本	佐藤春雄	中	昭和60年11月11日	22
58	天然記念物	願成寺 クス	2本	願成寺	川原ヶ谷	昭和60年11月11日	23
59	天然記念物	耳石神社 イタジイ	1本	耳石神社	幸原町	昭和60年11月11日	24
60	彫刻	光安寺 鼻取り地藏	1軀	光安寺	日の出町	昭和62年03月19日	25
61	建造物	円明寺表門(伝樋口本陣表門)	1棟	円明寺	芝本町	昭和63年01月21日	26
62	考古資料	光安寺板碑	1基	光安寺	日の出町	平成02年03月06日	27
63	絵画	梅御殿装飾絵画	6点10面	三島市	一番町	平成03年03月04日	28
64	考古資料	向山古墳出土遺物(鉄製品)	41点	三島市	中央町	平成03年03月04日	29
65	天然記念物	三嶋大社 社叢	境内	三嶋大社	大宮町	平成03年03月04日	30
66	考古資料	吊手土器	1点	三島市	中央町	平成04年03月03日	31
67	天然記念物	矢立の杉	1本	駒形諏訪神社	山中新田	平成04年03月03日	32
68	絵画	下田舜堂画「朝焼けの富士」	1点	三島市	北田町	平成05年03月04日	33
69	絵画	下田舜堂画「小浜池」	1点	三島市	北田町	平成05年03月04日	34
70	絵画	細井繁誠画「月と芋畑」	1点	三島市	大宮町	平成07年03月01日	35
71	絵画	杉本英一画「絵画教室」	1点	三島市	大宮町	平成07年03月01日	36
72	歴史資料	扁額「三島巖」	3点	三島市郷土資料館・東小学校	一番町・東町	平成09年03月05日	37
73	歴史資料	「豆州伊豆佐野村」絵図	1点	勝俣巖	佐野	平成12年03月01日	38
74	典籍	世古文書	11冊附書簡	世古明夫・三島市郷土資料館	相模原市・一番町	平成14年03月01日	39
75	考古資料	箱根田遺跡出土祭祀関係遺物	70点	三島市	中央町	平成15年05月08日	40
76	歴史資料	花鳥家資料	136点	三島市郷土資料館	一番町	平成15年05月08日	41
77	建造物	経王山 妙法華寺伽藍 大書院・本堂・祖師堂・奥書院・中門・忠霊殿	6棟	妙法華寺	玉沢	平成15年05月08日	42
78	絵画	芹沢晋吾画「農夫」	1点	三島市	大宮町	平成19年01月10日	43
79	典籍	落合家文書「天正18年『豆州君澤郡中嶋郷御繩打水帳』外地方文書」	436点	三島市郷土資料館	一番町	平成21年10月15日	44
80	建造物	禪叢寺鐘楼門	1棟	禪叢寺	玉川	平成22年03月10日	45
81	絵画	大沼貞夫画「日輪ボロボドゥール幻想」	1点	三島市	大宮町	平成22年03月10日	46
82	絵画	大沼貞夫画「魔性と仏性(ボロボドゥール考)A・B」	2点	三島市	一番町	平成22年03月10日	47
83	典籍	接待茶屋関係文書	10点	三島市郷土資料館	一番町	平成23年03月09日	48
84	歴史資料	接待茶屋関係調度品大茶釜外3点	4点	三島市郷土資料館	一番町	平成23年03月09日	49
85	古文書	天正十八年 豊臣秀吉捷書	1点	三島市郷土資料館	一番町	平成25年03月06日	50
86	天然記念物	鏡池横臥溶岩樹型	1	三島市	一番町	平成26年10月09日	51

- ※3 市指定文化財 管理番号5のうち「三嶋大社本殿、幣殿、拝殿」は、平成12年5月25日付けで国指定重要文化財に指定された。
 ※ 市指定文化財 管理番号17有形民俗「青木御獄神社の朝像版木他」(昭和55年10月8日指定)は、平成17年4月19日付で盗難のため指定解除された。
 ※ 市指定文化財 管理番号21天然記念物「右内神社のハリギリ」(昭和60年11月11日指定)は、平成10年7月10日付で枯死のため指定解除された。
 ※7 市指定文化財 管理番号22天然記念物「鈴木家のカシワ」は、平成17年4月19日付で「中のカシワ」に名称変更された。

付編4. 重要美術品一覧表

平成29年3月31日現在

番号	種別	名称	員数	所有者・管理者	所在地	指定年月日	管理
1	重要美術品	脇指 銘相模国住人廣光 康安二年十月日	1口	佐野美術館	中田町	昭和12年12月24日	1

- ※ 重要美術品とは、昭和8年4月1日に公布・施行された「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」に基づき認定されたものである。しかし昭和25年5月30日「文化財保護法」が交付され、前法律は廃止となったが、「文化財保護法」附則において、「認定されている物件については、同法は当分の間、なおその効力を有する」とされ、現在は、認定の取り消しとなるか、重要文化財の指定(格上げ指定)になるか、再調査の結果を待つ状態にある。

付編5. 登録有形文化財(建造物)一覧表

平成29年3月31日現在

番号	登録年月日	名称	構造及び形式	所在地	建築年代等
1	平成09年11月05日	隆泉苑	木造平屋建、瓦葺、建築面積324㎡	中田町1-43	昭和6年
2	平成09年12月12日	隆泉苑表門	木造四脚門袖塀付、瓦葺	中田町1-43	昭和6年
3	平成12年10月18日	懐古堂ムラカミ屋	木造2階建、鉄板葺、建築面積136㎡	大社町18-5	大正15年
4	平成18年10月18日	三嶋磨師の館(旧河合家住宅主屋)	木造平屋建、瓦葺、建築面積218㎡	大宮町2-5-16	江戸末期
5	平成18年10月18日	梅御殿	木造2階建、銅板葺、建築面積150㎡	一番町15-6	明治中期
6	平成18年10月18日	丸平商店店舗	木造2階建、瓦葺、建築面積99㎡	中央町4-16	明治初期
7	平成18年10月18日	丸平商店土蔵	土蔵造及び石造2階建、瓦葺、建築面積60㎡	中央町4-16	明治初期
8	平成19年05月15日	旧三島測候所庁舎	鉄筋コンクリート造2階建、建築面積193㎡	東本町2-5-24	昭和5年

付編6. 静岡県の近代和風建築一覧表

静岡県の近代和風建築 静岡県近代和風建築総合調査報告書 2002 静岡県教育委員会 平成14年3月

番号	分類	指定等	名称	現名称	所在地	建築年代等	掲載頁
6-01	別荘	市	旧小松宮彰仁親王御別邸	楽寿館	一番町	明治24・25(1891・92)	169
6-02	別荘	-	旧小松宮彰仁親王御別邸梅御殿	-	一番町	明治24・25(1891・92)	169
6-03	別荘	-	旧小松宮彰仁親王御別邸桜御殿	緒明家住宅	一番町	明治24・25(1891・92)	169
6-04	住居	-	河合家住宅	-	大宮町	江戸末	328
6-05	住居	登録	隆泉苑主屋	-	中田町	昭和6(1931)	328
6-06	住居	登録	隆泉苑表門	-	中田町	昭和6(1931)	329
6-07	住居	-	原家住宅主屋	-	北沢	明治初	-
6-08	住居	-	原家住宅登竜門付納屋	-	北沢	明治初	-
6-09	宗教	国	三嶋大社社殿	-	大宮町	慶応3(1867)	289
6-10	宗教	-	龍澤寺本堂	-	沢地	明治初	333
6-11	宗教	-	龍澤寺庫裏・書院	-	沢地	-	333
6-12	宗教	-	龍澤寺不動堂	-	沢地	明治初	333
6-13	宗教	市	玉澤妙法華寺庫裏	-	玉沢	-	-
6-14	宗教	市	玉澤妙法華寺中鐘樓	-	玉沢	-	-
6-15	宗教	-	天理教君澤分教会神殿	-	大社町	明治28(1895)頃	-

付編7. 天然記念物(地質鉱物)調査物件一覧表

静岡県の天然記念物(地質鉱物) 天然記念物緊急調査(地質鉱物)報告書 静岡県教育委員会 2004 平成16年9月30日

番号	コード番号	名称	規模と面積	所在地	現況と指定状況
1	2201019	狩野川の自由蛇行跡	500m×500m	御園他	現況・自然公園未指定 分類:名勝(湿原) ランク:Ⅲ
2	2209162	楽寿園小浜	65,000㎡	一番町	地下水は枯渇日数が多い 自然公園未指定 分類:天然記念物(1)岩石鉱物及び化石の産出、名勝(7)湧泉 指定年月日:昭和29年3月20日 所管国 ランク:Ⅴ

付編8. 静岡県の近代化遺産一覧表

静岡県の近代化遺産 静岡県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書 2000 静岡県教育委員会 平成12年3月

番号	分類	名称	旧称	掲載頁	番号	分類	名称	旧称	掲載頁
6-01	農業	祇園原開発大隧道	-	329	6-15	鉄道	旧六郷川橋梁	-	207
6-02	商業	三島信用金庫本店	-	169	6-16	鉄道	小出山トンネル	-	346
6-03	商業	パチンコニュースター	丸屋呉服店	167	6-17	鉄道	谷田トンネル	-	346
6-04	商業	森田金物店	千代田屋	167	6-18	鉄道	観音松トンネル	-	347
6-05	商業	松屋化粧品店	のだや	167	6-19	通信	N T T三島営業所	三島郵便局電話事務室	350
6-06	商業	高橋綿店	-	167	6-20	行政	三島測候所	-	267
6-07	商業	カワツネ	-	167	6-21	教育	田中家住宅	尋常小学校	352
6-08	商業	小早川酒店	小早川商店	167	6-22	軍事	日本大学記念館	野戦重砲兵第2連隊将校集会所	314
6-09	商業	渡辺理容店	-	168	6-23	軍事	旧野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-10	商業	村上ギャラリー	村上洋品店	168	6-24	軍事	旧野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-11	商業	渡辺漆器店	-	168	6-25	軍事	旧野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-12	商業	倉屋倉庫	-	168	6-26	軍事	旧野戦重砲兵第2連隊門柱	-	314
6-13	鉄道	三島駅	-	216	6-27	軍事	八幡宮本殿	三島東尋常小学校奉安殿	359
6-14	鉄道	旧大谷川鉄橋	-	207	6-28	軍事	天神社本殿	三島西尋常小学校奉安殿	359

付編9. 平成27年度 遺物整理調査事業一覧表

事業名 事業主	遺跡名	発掘調査の 経過	主な遺構・遺物	整理作業 の状況	作業期間	作業の成果
市内遺跡整理作業 三島市	発掘調査 確認調査	平成25年度 24遺跡 平成26年度 27遺跡	【遺構】住居跡、掘立柱建物跡、祭祀遺構、土坑、溝跡、柱穴、墳丘、周溝 【遺物】土師器、弥生土器	単年度	平成27年4月1日 } 平成28年3月31日	報告書の刊行

付編10. 平成27年度 発掘調査事業一覧表

番号	事業名・事業主	所在地・遺跡名	調査期間	調査面積	調査方法	遺跡の時代	有無と種類
1	個人住宅建設工事 個人事業主	南本町 三島御殿跡 第09地点	平成27年4月28日	4.0㎡	確認調査	弥生・古墳・平安・近世	無
2	飲食店舗建設工事 個人事業主	玉川 反り田遺跡 第01地点	平成27年5月22日	32.0㎡	確認調査	古墳・奈良・平安・近世	無
3	賃貸併用住宅建設工事 個人事業主	大宮町 塔の森廃寺 第10地点	平成27年5月27日	5.6㎡	確認調査	古墳時代～近世	無
4	土地売買 株式会社ルーム・アシスト	青木 青木B遺跡 第08地点	平成27年6月4日	7.0㎡	確認調査	弥生～奈良・近世	無

番号	事業名・事業主	所在地・遺跡名	調査期間	調査面積	調査方法	遺跡の時代	有無と種類
5	土地売買 有限会社三栄ホーム	安久 堀込遺跡 第10地点	平成27年 6月10日	5.6㎡	確認調査	古墳～中世	無
6	個人住宅建設工事 個人事業主	長伏 長伏遺跡 第07地点	平成27年 7月 8日	5.6㎡	確認調査	弥生	無
7	宅地分譲事業 株式会社小野不動産	加茂川町 天神原遺跡 第02地点	平成27年 7月15日	7.0㎡	確認調査	縄文・古墳・古代	無
8	倉庫・車庫建設工事 個人事業主	大宮町 塔の森廃寺 第11地点	平成27年 7月23日	4.0㎡	確認調査	縄文・古墳・古代	無
9	宅地分譲事業 個人事業主	青木 藤代遺跡 第05地点	平成27年 7月28日 ～平成27年 7月30日	36.0㎡	確認調査	弥生・古墳・中世	有・古墳
10	宅地分譲事業 株式会社丹下不動産	加茂川町 天神原遺跡 第03地点	平成27年 8月 1日	12.0㎡	確認調査	縄文・古墳・古代	無
11	個人住宅建設工事 個人事業主	大宮町 塔の森廃寺 第12地点	平成27年 8月 4日	12.0㎡	確認調査	縄文・古墳・古代	無
12	個人住宅建設工事 株式会社プライムホーム	千枚原 千枚原A遺跡 第07地点	平成27年 8月12日	4.0㎡	確認調査	縄文～古墳時代	無
13	個人住宅建設工事 株式会社スマート不動産	芙蓉台 元作場B遺跡 第02地点	平成27年 8月26日	8.0㎡	確認調査	縄文	無
14	集合住宅建設工事 個人事業主	東本町 上才塚遺跡 第12地点	平成27年 9月 3日	4.0㎡	確認調査	奈良～近世	無
15	賃貸住宅建設工事 個人事業主	中島 中島B遺跡 第09地点	平成27年 9月16日	12.0㎡	確認調査	弥生～平安・中世	無
16	賃貸住宅建設工事 個人事業主	谷田 陳場遺跡 第01地点	平成27年 9月25日	8.0㎡	確認調査	縄文	無
17	個人住宅建設工事 個人事業主	千枚原 千枚原A遺跡 第08地点	平成27年10月15日	4.0㎡	確認調査	縄文～古墳時代	無
18	個人住宅建設工事 個人事業主	泉町 伊豆国分寺跡 第12地点	平成27年10月22日	8.0㎡	確認調査	奈良～近世	無
19	個人住宅建設工事 個人事業主	南二日町 青木原遺跡 第10地点	平成27年10月29日	4.0㎡	確認調査	弥生・古墳・ 古代・中世	無
20	集合住宅建設工事 個人事業主	南二日町 青木原遺跡 第11地点	平成27年11月 5日	16.0㎡	確認調査	弥生・古墳・ 古代・中世	有・奈良
21	集合住宅建設工事 個人事業主	東本町 上才塚遺跡 第13地点	平成27年11月19日 ～平成27年11月20日	60.0㎡	確認調査	奈良～近世	無
22	店舗併用住宅建設工事 個人事業主	壱町田 千枚原横穴群 第02地点	平成27年11月27日	4.0㎡	確認調査	古墳～中世	無
23	店舗建設工事 合同会社 アル・カマル	谷田雪沢 谷田前田遺跡 06地点	平成27年12月 1日 ～平成27年12月 3日	56.0㎡	確認調査	縄文・古墳～近世	無
24	個人住宅建設工事 個人事業主 菅野	安久 伊勢堰遺跡 第16地点	平成28年 1月 7日	24.0㎡	確認調査	古墳～近世	有・奈良
25	集合住宅建設工事 個人事業主 杉澤	安久 伊勢堰遺跡 第17地点	平成28年 1月14日	16.0㎡	確認調査	古墳～近世	有・奈良
26	農業用倉庫建設工事 個人事業主 長澤	長伏 中ノ坪遺跡 第11地点	平成28年 1月26日	4.0㎡	確認調査	弥生～中世	無
27	飲食店舗建設工事 青山商事株式会社	玉川 反り田遺跡 第02地点	平成28年 2月 2日	56.0㎡	確認調査	古墳・奈良・ 平安・近世	無
28	集合住宅建設工事 個人事業主 稲葉	安久 箱根田遺跡 第08地点	平成28年 2月 9日	22.0㎡	確認調査	弥生～中世	有・奈良
29	共同住宅建設工事 個人事業主	大社町 市ヶ原廃寺 第05地点	平成28年 2月23日	16.0㎡	確認調査	奈良～近世	無
30	通所介護施設建設工事 個人事業主	谷田 井上遺跡 第06地点	平成28年 3月16日 ～平成28年 3月17日	32.0㎡	確認調査	古墳・奈良・平安	有・古墳

付編11. 平成27年度 立会調査事業一覧表

No.	遺跡名	立会調査日	状況	備考	No.	遺跡名	立会調査日	状況	備考
1	三島御殿跡第09地点	平成27年05月29日	適正	平成27年度	11	中島B遺跡第09地点	平成27年12月24日	適正	平成27年度
2	反り田遺跡第01地点	平成27年06月17日	適正	平成27年度	12	千枚原A遺跡第08地点	平成27年12月06日	適正	平成27年度
3	塔の森廃寺第10地点	平成28年01月08日	適正	平成27年度	13	伊豆国分寺跡第12地点	平成27年11月11日	適正	平成27年度
4	堀込遺跡第10地点	平成27年08月31日	適正	平成27年度	14	青木原遺跡第11地点	平成27年12月01日	適正	平成27年度
5	長伏遺跡第07地点	平成27年07月20日	適正	平成27年度	15	上才塚遺跡第13地点	平成27年10月03日	適正	平成27年度
6	天神原遺跡第02地点	平成28年01月13日	適正	平成27年度	16	千枚原横穴群第02地点	平成28年04月02日	適正	平成28年度
7	塔の森廃寺第11地点	平成27年08月19日	適正	平成27年度	17	谷田前田遺跡06地点	平成28年05月06日	適正	平成28年度
8	藤代遺跡第05地点	平成27年10月16日	適正	平成27年度	18	伊勢堰遺跡第16地点	平成28年02月26日	適正	平成27年度
9	塔の森廃寺第12地点	平成27年08月27日	適正	平成27年度	19	伊勢堰遺跡第17地点	平成28年04月08日	適正	平成28年度
10	上才塚遺跡第12地点	平成27年09月30日	適正	平成27年度	20	中ノ坪遺跡第11地点	平成28年02月17日	適正	平成27年度

No.	遺跡名	立会調査日	状況	備考	No.	遺跡名	立会調査日	状況	備考
21	反り田遺跡第02地点	平成28年05月06日	適正	平成28年度	23	市ヶ原廃寺第05地点	平成28年04月05日	適正	平成28年度
22	箱根田遺跡第08地点	平成28年05月10日	適正	平成27年度	24	井上遺跡第06地点	平成28年02月24日	適正	平成27年度

付編12. 平成27年度 講師派遣等一覧表

	実施日	依頼先	対象	人数	区分	対応(氏名)	内容・その他
1	平成27年04月15日	向山小学校	6年生	104人	そよかぜ学習	講師(辻)	地域の古墳について講話する。回数は2回。
2	平成27年04月22日	錦田小学校	6年生	111人	そよかぜ学習	講師(辻)	地域の古墳について講話する。回数は2回。
3	平成27年04月24日	北小学校	6年生	109人	社会	講師(辻)	地域の古墳について講話する。回数は1回。
4	平成27年04月30日	向山小学校	6年生	104人	そよかぜ学習	講師(辻)	向山古墳群現地見学。回数は1回。
5	平成27年05月13日	西小学校	6年生	80人	そよかぜ学習	講師(辻)	地域の古墳について講話する。回数は2回。
6	平成27年05月21日	山田小学校	6年生	85人	そよかぜ学習	講師(辻)	地域の古墳について講話する。回数は2回。

付編13. 平成27年度 考古資料貸出・提供一覧表

	許可年月日	申請者	利用の目的と方法	資料名
1	平成27年08月17日	個人	調査研究のため	徳倉片平山L遺跡出土石器1点、中林山遺跡出土石器1点

付編14. 平成27年度 写真資料使用承諾一覧表

	許可年月日	申請者	利用の目的と方法	資料名	刊行予定
1	H27. 2. 4	(株)かみゆ	洋泉社出版『日本の山城100名城』	山名城の縄張り図ほか1	H27. 2
2	H27. 6. 16	(株)洋泉社	MOOK『歴史Real 戦国の城を攻める!』	山名城崎崎出丸空撮写真	H27. 7. 10
3	H27. 9. 17	(株)碧水社	『蘇る城』	山名城西の丸空撮写真	H27. 10. 14
4	H27. 9. 17	(有)スタジオ・ジップ	『入門 仏教宗派』	白隠自画像	H27. 10. 5
5	H27. 11. 13	NHK出版	NHK趣味どきっ! 『お城へ行く! ~名符の素顔をお城が語る』	山名城西の丸空撮写真ほか8点	H28. 1. 25
6	H27. 11. 25	小学館 児童・学習編集部	『ドラえもん ふしぎの歴史① 日本はじまる』	初音ヶ原遺跡第20号土坑	H27. 12. 18
7	H27. 12. 25	レマン	東日本旅客鉄道出版『大人の休日倶楽部』2月号	史跡山名城跡イラスト図	H28. 2
8	H28. 1. 18	(株)かみゆ	イカロス出版『廃城をゆく4』	山名城縄張り図	H28. 2
9	H28. 3. 17	JTBパブリッシング	『ノジュール』「初夏のひとり旅 話題のスポットへ行く」に掲載	山名城跡ツツ西畝掘り	H28. 4
10	H28. 3. 31	(株)かみゆ	『日本の山城を歩く(仮)』	史跡山名城跡の空撮写真ほか2点	H28. 4

付編15. 文化財関係刊行図書一覧表

No.	和暦	西暦	図書名	種別
001	昭和32年度	1958	『三島市誌上巻』	市誌
002	昭和34年度	1959	『三島市誌中巻』	市誌
003	昭和34年度	1959	『三島市誌下巻』	市誌
004	昭和41年度	1967	『三島市千枚原遺跡-発掘調査概要-』	概報
005	昭和44年度	1970	『三島の文化財』	パンフレット
006	昭和47年度	1972	『三島の文化財』再版	パンフレット
007	昭和48年度	1974	『史跡山名城跡発掘概報-第一次調査-』	概報
008	昭和49年度	1975	『山名城跡文献資料集』	報告書
009	昭和49年度	1975	『初音ヶ原・寺屋敷遺跡発掘概報-昭和49年度箱根塚原バイパス埋蔵文化財発掘調査』	概報
010	昭和49年度	1975	『史跡山名城跡Ⅱ-昭和49年度発掘調査整備事業概報-』	概報
011	昭和50年度	1976	『史跡山名城跡Ⅲ-昭和50年度発掘調査整備事業概報-』	概報

No.	和暦	西暦	図書名	種別
012	昭和52年度	1978	『戦乱の森 史跡山中城跡-史跡公園基本構想-』	報告書
013	昭和54年度	1980	『史跡山中城跡Ⅳ-昭和51~54年度発掘調査整備事業概報-』	概報
014	昭和54年度	1980	『三島市遺跡地図』	遺跡地図
015	昭和54年度	1980	『戦国の歴史を伝える 史跡山中城跡へのいざない』	パンフレット
016	昭和54年度	1980	『三島の文化財』第3版	パンフレット
017	昭和56年度	1981	『史跡山中城跡公園 開園のしおり』	パンフレット
018	昭和56年度	1982	『国道1号三ツ谷バイパス埋蔵文化財発掘概報-56年度-』	概報
019	昭和56年度	1982	『谷田天台遺跡-三島市谷田宅地造成に伴う調査報告書-』	報告書
020	昭和57年度	1982	『国道1号三ツ谷バイパス埋蔵文化財発掘調査概報-57年度-』	概報
021	昭和57年度	1983	『赤松下遺跡』	報告書
022	昭和57年度	1983	『中島下舞台遺跡』	報告書
023	昭和58年度	1984	『史跡山中城跡-第1分冊-』	報告書
024	昭和58年度	1984	『一般国道1号三ツ谷バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書-カシラガシ 奥山 天神 山 大開宮向-』	報告書
025	昭和58年度	1984	『鶴喰遺跡-発掘調査報告書-』	報告書
026	昭和58年度	1984	『三島市誌増補のしおり』	市誌
027	昭和59年度	1985	『史跡山中城跡-第2分冊-』	報告書
028	昭和59年度	1985	『史跡山中城跡』	報告書
029	昭和59年度	1985	『安久遺跡-昭和59年度埋蔵文化財範囲確認調査報告書-』	報告書
030	昭和59年度	1985	『三島市小浜池保存調査に関する報告書』	報告書
031	昭和59年度	1985	『三島市誌上・中・下巻』復刻	市誌
032	昭和60年度	1986	『北山遺跡-農免農道建設用地内埋蔵文化財発掘調査概報-』	概報
033	昭和61年度	1987	『三島の遺跡-昭和61年度埋蔵文化財発掘調査の概要-』	年報
034	昭和61年度	1987	『片平山遺跡群Ⅰ-三島スプリングスカントリー倶楽部ゴルフ場造成に伴う埋蔵文化財試掘調査報告書-』	概報
035	昭和61年度	1987	『北原管遺跡-箱根の里建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報-』	概報
036	昭和61年度	1987	『三島用水誌』	市誌
037	昭和61年度	1987	『三島の文化財』	パンフレット
038	昭和62年度	1987	『三島市誌増補』	市誌
039	昭和62年度	1987	『発掘復元された史跡山中城跡』	パンフレット
040	昭和62年度	1987	『三島の文化財-ガイドマップ-』	リーフレット
041	昭和62年度	1988	『砥石・大山田遺跡-三島沢地工業団地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報-』	概報
042	昭和62年度	1988	『北山遺跡Ⅱ-農地改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報-』	概報
043	昭和62年度	1988	『史跡山中城跡Ⅴ-昭和62年度発掘調査整備事業概報-』	概報
044	昭和63年度	1988	『三島の遺跡vol.2 -昭和62年度文化財保護事業の概要-』	年報
045	昭和63年度	1988	『三島市遺跡地図・地名表』	遺跡地図
046	昭和63年度	1989	『安久遺跡-土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
047	昭和63年度	1989	『史跡山中城跡Ⅵ-昭和63年度発掘調査整備事業概報-』	概報
048	昭和63年度	1989	『初音ヶ原遺跡群Ⅲ-都市計画道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報-』	概報
049	昭和63年度	1989	『三島市誌増補 資料編Ⅰ』	市誌
050	昭和63年度	1989	『三島の文化財』	ビデオ
051	平成元年度	1989	『三島市文化財年報-第1号-』	年報
052	平成元年度	1990	『伊豆国分寺関連遺跡Ⅰ-伊豆国分寺跡第1地点の発掘調査報告書-』	報告書
053	平成元年度	1990	『三島スプリングスC・Cゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ-徳倉片平山L遺跡 徳倉片平山K遺跡 ソノエンサレB遺跡 徳倉片平山H遺跡 徳倉片平山I遺跡-』	報告書
054	平成元年度	1990	『十石洞遺跡-新設中学校建設に伴う埋蔵文化財調査報告書-』	報告書
055	平成元年度	1990	『三嶋大社境内遺跡Ⅰ-三嶋大社客殿・社務所建設に伴う発掘調査報告書-』	報告書
056	平成元年度	1990	『史跡山中城跡Ⅶ-平成元年度発掘調査整備事業概報-』	概報
057	平成元年度	1990	『三島C・Cゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査概要報告書-五輪遺跡 観音洞G遺跡第1地点 観音洞G遺跡第2地点 元山中C遺跡 陰洞A遺跡 陰洞B遺跡 陰洞C遺跡 陰洞E遺跡 観音洞B遺跡 観音洞H遺跡-』	概報
058	平成元年度	1990	『三島の文化財-ガイドマップ-』再版	リーフレット
059	平成2年度	1990	『三島市文化財年報-第2号-』	年報
060	平成2年度	1991	『安久杵形遺跡』	報告書
061	平成2年度	1991	『上阿弥陀遺跡』	報告書
062	平成2年度	1991	『夏梅木遺跡群-夏梅木地区宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査概報-』	概報
063	平成3年度	1991	『三島市文化財年報-第3号-』	年報
064	平成3年度	1992	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅰ-初音ヶ原A遺跡第3地点 伊豆国分寺関連遺跡第2地点 加茂向山遺跡 史跡山中城跡第15次発掘調査 茶白山遺跡 三島代官所Ⅰ地点 山神社塚原古墳群 確認調査-』	報告書
065	平成3年度	1992	『三島スプリングスC・Cゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ-中村C遺跡 徳倉片平山B遺跡 徳倉片平山J遺跡-』	報告書
066	平成3年度	1992	『上才塚遺跡第1地点-中高層住宅建設に伴う発掘調査報告書-』	報告書
067	平成3年度	1992	『上才塚遺跡第2地点-日榮マンション建設に伴う発掘調査報告書-』	報告書
068	平成3年度	1992	『長伏上塩平田遺跡-倉庫建設に伴う埋蔵文化財発掘調査-』	報告書
069	平成3年度	1992	『玉川塚田遺跡-静岡トヨタ自動車営業所建設に伴う発掘調査報告書-』	報告書
070	平成3年度	1992	『史跡山中城跡Ⅷ-平成2・3年度発掘調査整備事業概報-』	概報
071	平成3年度	1992	『三島市誌増補 資料編Ⅱ』	市誌
072	平成4年度	1992	『三島市文化財年報-第4号-』	年報
073	平成4年度	1993	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅱ-向山古墳 桶田遺跡 確認調査-』	報告書
074	平成4年度	1993	『金沢遺跡-日榮マンション建設に伴う発掘調査-』	報告書
075	平成4年度	1993	『史跡山中城跡Ⅸ-平成4年度発掘調査整備事業概報-』	概報

No.	和暦	西暦	図書名	種別
076	平成5年度	1993	『三島市文化財年報-第5号-』	年報
077	平成5年度	1994	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ-三島御殿遺跡第1地点 山中城跡三ノ丸第2地点 反畑遺跡第3地点 山田山遺跡 笹原後F遺跡 試掘調査-』	報告書
078	平成5年度	1994	『史跡山中城跡Ⅱ』	報告書
079	平成5年度	1994	『五輪・観音洞・元山中・陰洞遺跡-グランフィールズC. Cゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
080	平成5年度	1994	『米作りのムラ-奈良橋向遺跡・西大久保遺跡-日清プラザ建設に伴う発掘調査の概要-』	パンフレット
081	平成5年度	1994	『『夢』舞台・東海道-東海道三島宿と箱根旧街道-』	ビデオ
082	平成5年度	1994	『『夢』舞台・東海道-東海道三島宿と箱根旧街道-』	リーフレット
083	平成5年度	1994	『三島の文化財-ガイドマップ-』改訂版	リーフレット
084	平成6年度	1994	『三島市文化財年報-第6号-』	年報
085	平成6年度	1995	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ-初音ヶ原A遺跡第4地点 谷戸遺跡 箱根田遺 長伏六反田遺跡 三島御殿遺跡第2地点 自然科学分析-』	報告書
086	平成6年度	1995	『三島代官所・市ヶ原廃寺関連遺跡Ⅰ-東本町幸原線県単独街路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
087	平成6年度	1995	『大場川遺跡群-大場川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
088	平成6年度	1995	『山中城跡三ノ丸第1地点-山中公民館建設に伴う発掘調査報告書-』	報告書
089	平成6年度	1995	『三嶋大社のお田打-静岡県指定無形民俗文化財 ふるさと民俗芸能ビデオNo24-』	ビデオ
090	平成7年度	1995	『三島市文化財年報-第7号-』	年報
091	平成7年度	1996	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅴ-伊豆国分寺関連遺跡第3地点 向山古墳群測量調査 試掘調査 自然科学分析-』	報告書
092	平成7年度	1996	『西大久保・奈良橋向遺跡-日清プラザ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告-』	報告書
093	平成7年度	1996	『接待茶屋遺跡-国道1号線形改良工事に伴う発掘調査-』	報告書
094	平成7年度	1996	『国指定史跡 山中城跡』	リーフレット
095	平成7年度	1996	『三島雛子-静岡県指定無形民俗文化財 ふるさと民俗芸能ビデオNo29-』	ビデオ
096	平成8年度	1996	『三島市文化財年報-第8号-』	年報
097	平成8年度	1997	『三嶋大社境内遺跡第3地点-三嶋大社宝物館改築工事に伴う発掘調査-』	報告書
098	平成8年度	1997	『小平C遺跡・小平B遺跡-県民総合健康センター建設 緑の市民運動公園建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
099	平成9年度	1997	『三島市文化財年報-第9号-』	年報
100	平成9年度	1998	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅵ-初音ヶ原B遺跡第1地点 赤王山古墳群 試掘調査 自然科学分析-』	報告書
101	平成9年度	1998	『中村分遺跡 天台B遺跡 天崎C遺跡 試掘調査-県営緊急畑地帯総合整備事業に伴う発掘調査報告書-』	報告書
102	平成9年度	1998	『三島の文化財-ガイドマップ-』改訂版再版	リーフレット
103	平成9年度	1998	『三島の文化財-ガイドマップ-』改訂版再版	リーフレット
104	平成10年度	1998	『谷田前田遺跡第2地点-谷田(雪沢)共同住宅建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
105	平成10年度	1998	『三島市文化財年報-第10号-』	年報
106	平成10年度	1999	『長伏六反田遺跡-ヤマト運輸(株)新沼津ベース建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
107	平成10年度	1999	『箱根旧街道石畳整備事業報告書』	報告書
108	平成10年度	1999	『初音ヶ原遺跡-都市計画道路谷田幸原線インターチェンジ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
109	平成10年度	1999	『初音ヶ原遺跡-都市計画道路谷田幸原線インターチェンジ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
110	平成10年度	1999	『初音ヶ原遺跡-都市計画道路谷田幸原線インターチェンジ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
111	平成11年度	1999	『三島市文化財年報-第11号-』	年報
112	平成11年度	2000	『夏梅木遺跡群-三島市錦ヶ丘住宅団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
113	平成12年度	2000	『三島市文化財年報-第12号-』	年報
114	平成12年度	2001	『多呂ノ前遺跡-貸店舗建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
115	平成12年度	2001	『史跡山中城跡-発掘調査と環境整備の概要-』	パンフレット
116	平成12年度	2001	『箱根旧街道石畳-整備事業の概要-』	リーフレット
117	平成13年度	2001	『三島市文化財年報-第13号-』	年報
118	平成13年度	2002	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅶ-中林山遺跡 青木B遺跡 試掘調査 埋蔵文化財所蔵資料調査 自然科学分析-』	報告書
119	平成13年度	2002	『初音ヶ原B遺跡第4地点-宅地造成事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
120	平成13年度	2002	『押切遺跡-宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
121	平成13年度	2002	『史跡山中城跡-北条流角馬出しや障子堀の残る山城-』	パンフレット
122	平成14年度	2002	『三島市文化財年報-第14号-』	年報
123	平成14年度	2003	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅷ-砥石C遺跡 大山田B遺跡 赤王清水洞横穴墓群 カンカン穴横穴墓群 試掘・確認調査 所蔵考古資料調査 自然科学分析-』	報告書
124	平成14年度	2003	『箱根田遺跡-店舗建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
125	平成14年度	2003	『箱根旧街道一里塚』	リーフレット
126	平成15年度	2003	『三島市文化財年報-第15号-』	年報
127	平成15年度	2004	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅸ-中島B遺跡上舞台地点 所蔵考古資料調査 自然科学分析-』	報告書
128	平成15年度	2004	『南山D遺跡 東山遺跡 香音Ⅱ-D遺跡 奥山遺跡-笹原大竹線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』	報告書
129	平成15年度	2004	『人面墨書土器-古代祭祀へのいざない-企画展 三島の文化財紹介-』	リーフレット
130	平成16年度	2004	『三島市文化財年報-第16号-』刊行	年報
131	平成16年度	2005	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告Ⅹ-乾草峠遺跡 反畑遺跡第9地点 試掘・確認調査 所蔵考古資料調査 自然科学分析-』	報告書
132	平成16年度	2005	『国指定史跡 箱根旧街道西坂』	リーフレット

No.	和暦	西暦	図書名	種別
133	平成17年度	2005	〔三島市文化財年報－第17号－〕	年報 報告書
134	平成17年度	2006	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XI－向山古墳群第1・2号墳 青木原遺跡第2地点試掘・確認調査 所蔵考古資料調査 自然科学分析 保存処理－〕	
135	平成18年度	2006	〔東駿河・伊豆の古墳と横穴墓〕－発掘された日本列島 2006 地域展－	図録 年報 報告書 リーフレット 報告書
136	平成18年度	2006	〔三島市文化財年報－第18号－〕	
137	平成18年度	2007	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XII 試掘・確認調査 所蔵考古資料調査〕	
138	平成18年度	2007	〔三島市にある国の登録有形文化財〕	
139	平成18年度	2007	〔史跡山中城跡樹木等調査〕	
140	平成19年度	2007	〔三島市文化財年報－第19号－〕	年報 報告書
141	平成19年度	2008	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XIII-県指定史跡向山古墳群・伊豆国分寺第6地点・試掘・確認調査・自然科学分析・保存処理〕	
142	平成19年度	2008	〔国指定史跡 山中城跡-北条流角馬出や障子堀の残る山城〕再版	パンフレット リーフレット
143	平成19年度	2008	〔三島市にある国の登録有形文化財〕改訂版	
144	平成20年度	2008	〔三島市文化財年報－第20号－〕	年報 報告書
145	平成20年度	2009	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XIV-青木原遺跡第4地点・宮ノ前B遺跡第3地点・試掘・確認調査・所蔵考古資料調査・自然科学分析・保存処理〕	
146	平成21年度	2009	〔三島市文化財年報－第21号－〕	年報 報告書 報告書 報告書 リーフレット
147	平成21年度	2009	〔伊勢堰遺跡第5・6地点〕	
148	平成21年度	2010	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XV-試掘・確認調査・自然科学分析〕	
149	平成21年度	2010	〔伊勢堰遺跡第3・4地点〕	
150	平成21年度	2010	〔国指定史跡 山中城跡〕再版	
151	平成22年度	2010	〔三島市文化財年報－第22号－〕	年報 報告書 地図
152	平成22年度	2011	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XVI-発掘調査・試掘・確認調査〕	
153	平成22年度	2011	〔三島市遺跡地図・地名表〕	
154	平成23年度	2011	〔三島市文化財年報－第23号－〕	年報 地図 報告書
155	平成23年度	2012	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XVII別冊-三島市遺跡地図個別範囲図〕	
156	平成23年度	2012	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XVII-西遺跡他6遺跡〕	
157	平成24年度	2013	〔三島市文化財年報－第24号－〕	年報 報告書
158	平成24年度	2013	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XVIII-確認調査〕	
159	平成25年度	2014	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XIX-確認調査〕	報告書 報告書 報告書 年報
160	平成25年度	2014	〔山中城遺跡〕	
161	平成25年度	2014	〔願合寺A遺跡〕	
162	平成25年度	2014	〔三島市文化財年報－第25号－〕	
163	平成26年度	2015	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告 補助事業版第1号〕	報告書 報告書 報告書
164	平成26年度	2015	〔三島市埋蔵文化財発掘調査報告XX-確認調査〕	
165	平成26年度	2015	〔大進舎遺跡（第2地点）〕	
166	平成27年度	2015	〔三島市文化財年報－第26・第27号－〕	年報 リーフレット リーフレット リーフレット
167	平成27年度	2015	〔人面墨書土器～古代祭祀へのいざない～〕改訂版	
168	平成27年度	2015	〔箱根旧街道西坂〕	
169	平成27年度	2015	〔平安・鎌倉古道〕	

三島市教育委員会 教育部 文化振興課
〒411-0035
静岡県三島市大宮町1丁目8番38号
TEL 055-983-2672 FAX 055-983-0870
e-mail : bunka@city.mishima.shizuoka.jp

©2017

静岡県三島市 文化財年報

- 第28号 -

平成29年3月24日 印刷・発行

編集・発行 三島市教育委員会

印刷 文光堂印刷株式会社

